

2024 年絵本研究参考文献目録 (2024 年 1 月 - 12 月発行分)

Bibliography for the Study of Picture Books in 2024

丸尾 美保*・小泉 直美・坂本 淳子・
関 純奈・永田 桂子
MARUO Miho, KOIZUMI Naomi, SAKAMOTO
Junko, SEKI Junna, NAGATA Keiko

本目録は、2024 年 1 月から 12 月までの間に発行された絵本研究の参考文献を収録したものである。文献は、「図書（含図録）」（小泉・坂本・永田）、「雑誌」（関・小泉・坂本・永田・丸尾）、「紀要論文他」（丸尾）に分けて、丸尾がとりまとめを行なった。

文献の情報は、国立国会図書館サーチ（NDL サーチ）、大阪府立中央図書館国際児童文学館蔵書検索、国立情報学研究所学術情報データベース（CiNii Research）、科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）、美術図書館横断検索（ALC Search）のデータ情報、国立国会図書館（東京本館・関西館・国際子ども図書館）、大阪府立中央図書館国際児童文学館、愛知県図書館、名古屋市鶴舞中央図書館、東京都美術館美術情報室などでの調査、書店や美術館ミュージアムショップでの店頭調査等に拠った。

図録リストの表記方法、雑誌の記載範囲および表記方法、紀要論文の分類と収集範囲等については、今後も協議を重ねていく。

遺漏は補稿として追加していくので、お気づきの点や情報は、ぜひお知らせいただきたい。

凡例

書誌の記載方法は、主として国立国会図書館サーチ（NDL サーチ）の表記に準じている。書名・論文タイトルは、メインタイトルの後に「:」を付し、サブタイトルを併記した。また「図書（含図録）」のシリーズ名については、丸括弧内に記した。掲載順は、「図書（含図録）」「紀要論文他」は発行年月順、「雑誌」は区分ごとの誌名順とした。

図書（含図録）

収集範囲は 2024 年発行のものとし、「著者名」「書名」「発行（出版社）」「発行年月」「頁数」の情報を項目別に記した。頁数については該当資料を確認し、その表記については日本目録規則に従った。発行年月順に掲載し、同じ発行年月の場合は編著者名の五十音順とした。ムックは図書として扱った。なお、図録は別にまとめ、図書のリストのあとに記した。図録に発行年月の記載がない場合は、展覧会の開始日を発行年月として採り、[] で記した。

雑誌

収集範囲は 2024 年の年号表示のあるものとし、採録は特集記事や連載記事を主とした。「絵本誌」「児童文学・児童図書館誌・美術館誌」「育児・保育・教育・児童文化誌」「イラストレーション・美術誌」「文学・文芸誌」「総合誌・その他」の 6 区分を設け、区分ごとに誌名の五十音順にならべ、「誌名・発行（出版社）」「巻号（年月号 or 発行年月）」「記事名・著者・掲載頁（or 頁数）」の情報を項目別に記した。

紀要論文他

採録は発行日が 2024 年のものとした。内容別に「作品論・作家論・歴史・表現研究」「教育・実践」に 2 分類し、「著者名」「論文名」「誌名」「巻（号）」「発行名」「発行年月」「掲載頁」の情報を項目別に記した。各論文は発行年月順にならべ、発行年月が同じ場合は発行名の五十音順とした。研究発表要旨集については 1 論文 4 頁以上のものを掲載した。論文種別に関しては、「論文」以外の場合は論文名のあとに種別を（ ）内に記した。

※「2024 年絵本研究参考文献目録」（p37-71）は絵本学会ホームページ（<https://ehongakkai.com/index.html>）に掲載。

図書（含図録）

●図書

著者名	書名(叢書名・番号)	発行(出版社)	発行年月	頁数
伊藤明美講演、NPOブックスタート編	絵本は親子のゆりかご：講演録（子ども・社会を考えるシリーズ）	NPOブックスタート	2024.1	44p
木村美幸	絵本で実践！アニメーション：子どもの力を引き出す26のプログラム	北大路書房	2024.1	11,161p
木村有子	チェコのヤボンカ：私が子どもの本の翻訳家になるまで	かもがわ出版	2024.1	191p
DBジャパン編	テーマ・ジャンルからさがす物語・お話・乳幼児絵本 1998	DBジャパン	2024.1	17,370, 31,15p
長谷川町子	わかめちゃん絵本の世界	教育評論社	2024.1	101p
赤木かん子	明日も生きていこうと思える絵本101	草思社	2024.2	220p
王文萱著、藤原由希訳	竹久夢二の世界：美人画からモダンデザインまで	パイインターナショナル	2024.2	219,11p
小松麻美	日本語教育に創作活動を！：詩や物語を書いて日本語を学ぶ	ココ出版	2024.2	271p
高橋洋子	高橋五山の総合的研究：デザイン・絵雑誌・紙芝居	風間書房	2024.2	5,326p
DBジャパン編	テーマ・ジャンルからさがす物語・お話・乳幼児絵本 1997	DBジャパン	2024.2	17,405, 34,17p
DBジャパン編	未来につなぐ行事SDGs：絵本・児童文学・紙芝居・学習まんが・図鑑 2010-2019	DBジャパン	2024.2	2,239, 132p
中川素子	世界をひらく60冊の絵本（平凡社新書 1052）	平凡社	2024.2	294p
堀内花子	父・堀内誠一が居る家：バリの日々	カノア	2024.2	143p
柚木沙弥郎著、小林真理編著	柚木沙弥郎美しい本の仕事：絵と型染から生まれる御伽草子	パイインターナショナル	2024.2	203p
児玉ひろ美	子どもを育てる0・1・2歳児にぴったりの絵本：選び方・読み方がわかる！（新幼児と保育BOOK）	小学館	2024.3	112p
DBジャパン編	テーマ・ジャンルからさがす物語・お話・乳幼児絵本 1996	DBジャパン	2024.3	18,416, 36,15p
前川久美子	中世バリの装飾写本：書物と読者 改訂新版	工作舎	2024.3	245,20p
宇野亞喜良	宇野亞喜良クロニクル 増補版	グラフィック社	2024.4	355p
DBジャパン編	テーマ別で探せる！子どもの読書への興味をたかめる 絵本・児童文学賞受賞作索引 2017-2023	DBジャパン	2024.4	13,292, 32p
永岡綾編著	ぼうけん図書館：エルマーとゆく100冊の冒険	ブルーシープ	2024.4	256p
中川李枝子[著]、齋藤亜紀・土谷みずき編	ISSUE 中川李枝子：冒険のはじまり	スイッチ・パブリッシング	2024.4	127p
やなせたかし[著]、PHP研究所編	やなせたかし明日をひらく言葉 新装版	PHPエディターズ・グループ	2024.4	189p
ふわはね	えほんとりっぷ：全国絵本屋さんめぐり130軒	世界文化社	2024.4	187p
井桁容子講演、NPOブックスタート編	のびやかな育ちを考える：0・1・2歳児保育の現場から：講演録（子ども・社会を考えるシリーズ）	NPOブックスタート	2024.5	52p

谷川俊太郎・覚和歌子	かつば語録	角川春樹事務所	2024.5	189p
DBジャパン編	子どもの未来をまもるためのブックリスト:絵本・児童文学・紙芝居・学習まんが・図鑑 2010-2019	DBジャパン	2024.5	259,139p
日外アソシエーツ編	最新文学賞事典 2019-2023	日外アソシエーツ	2024.5	13,591p
やなせたかし	オイドル絵っせい 続 新装版	フレーベル館	2024.5	318p
O.L.V.(おおぶ文化交流の杜図書館ボランティアグループ)・おおぶ文化交流の杜図書館編	世界の絵本・作家総覧	勉誠社	2024.6	9,1216p
川口かおる	中学生からの絵本のトリセツ (岩波ジュニアスタートブックス)	岩波書店	2024.6	116p
谷川俊太郎著、田原編	からだに従う:ベストエッセイ集 (集英社文庫)	集英社	2024.6	297p
momo編集部編	科学・いきもの・鉱物など図鑑の大特集300 (インプレスムック『momo』vol.29)	マイルスタッフ	2024.6	143p
やなせたかし	何のために生まれてきたの? (PHP文庫)	PHP研究所	2024.6	130p
井上奈奈	絵本を建てる	KISSA BOOKS	2024.7	69p
[武井武雄著]、竹内清乃編、イルフ童画館監修	新版 武井武雄の本:幻想世界のマルチアーティスト (別冊太陽:日本のこころ)	平凡社	2024.7	167p
田中達也	みたてのくみたて:見るだけでひらめくアイデアの本	ダイヤモンド社	2024.7	159p
DBジャパン編	テーマ・ジャンルからさがす物語・お話・乳幼児絵本 1994	DBジャパン	2024.7	350,31,13p
仲本美央編著	ずかん・かがく絵本から広がる遊びの世界 (これからの保育シリーズ15)	風鳴舎	2024.7	150p
[BRUTUS編集部編]	合本 本が人をつくる。(マガジンハウスムック)	マガジンハウス	2024.7	129p
山本省三監修	大好きな本と出会う!小学生のための読書案内:世界が広がる&ココロが豊かになる250冊:45のテーマで、楽しい本の世界へ子どもたちの「もっと読みたい!」にこたえる	メイツユニバーサルコンテンツ	2024.7	160p
[オレンジページ編集部編]	絵本のごはん、絵本のおやつ (ORANGE PAGE MOOK『こどもオレンジページ』No.6)	オレンジページ	2024.8	98p
菊池良	えほん思考	晶文社	2024.8	216p
DBジャパン編	テーマ・ジャンルからさがす物語・お話・乳幼児絵本 2023	DBジャパン	2024.8	561,39,29p
柚木沙弥郎	旅の歓び、旅の色彩:柚木沙弥郎自選作品集	平凡社	2024.8	192p
柚木沙弥郎	柚木沙弥郎旅の手帖:中世美術に憧れて	平凡社	2024.8	226p
石井桃子・いぬいとみこ・鈴木晋一・瀬田貞二・松居直・渡辺茂男	子どもと文学 増補新版 (中公文庫)	中央公論新社	2024.9	311p
小川三和子	子どもの読む力を育てよう!:家庭で、園で、学校で	青弓社	2024.9	212p
奥山恵	多層性のレッスン:絵本・幼年童話・児童文学みちしるべ	りょうゆう出版	2024.9	121p
尾野治彦	続・「視点」の違いから見る日英語の表現と文化の比較 (開拓社 言語・文化選書104) [第4章「絵本の画像を把握対象とした日英語比較」収載]	開拓社	2024.9	201p

城島徹	日中が育てた絵本編集者唐亜明	藤原書店	2024.9	445p
鄭平陽	絵本の読み合わせを活用した心理支援：児童養護施設の児童と職員における事例から	晃洋書房	2024.9	10,213p
はらぺこめがね	明けても暮れても食べて食べて	筑摩書房	2024.9	127p
平山英三・平山和子絵、平山日菜・杉山良子・久住和代編	平山英三・平山和子：自然・造形・絵本の世界を歩いた二人の画家	杉山良子	2024.9	358p
山田陽子	うちの絵本箱：絵本くんたちとの一期一会	鳥影社	2024.9	268p
岸田節子	私の居候生活：石井桃子とのこと	岸田節子	2024.10	208p
熊田千佳慕	熊田千佳慕の世界：愛するからこそ美しい	求龍堂	2024.10	191p
越高綾乃	海外児童文学をめぐる冒険：手渡していく「読書のよろこび」	かもがわ出版	2024.10	139p
立川真理恵	絵本から学ぶ韓国の言葉と文化：暮らしと心の原風景を尋ねて（ブックレット『アジアを学ぼう』63）	風響社	2024.10	79p
tupera tupera	tupera tuperaのアイデアポケット	ミシマ社	2024.10	320p
日本出版美術研究会・弥生美術館編	明治・大正・昭和近代日本の挿絵：弥生美術館美術館だより：創立40周年記念特集号渡邊圭二著述集	弥生美術館	2024.10	308p
ミロコマチコ[ほか述]、柴田こずえ・南谷佳世聞き手	絵本作家のしごと（別冊太陽スペシャル）	平凡社	2024.10	159p
いわさきちひろ	CHIHIRO'S CHILDREN Happy Time：ちひろのこどもたちハッピータイム	グラフィック社	2024.11	159p
岡野民	あの時のわたし：自分らしい人生に、ほんとうに大切なこと [西巻茅子収載]	新潮社	2024.11	335p
ディヴィッド・ルイス著、川端有子訳	絵本の「言葉と絵」を読む	玉川大学出版部	2024.11	321,46p
日本国際児童図書評議会編	おすすめ！子どもの本：新しい時代をつくる350冊	小学館	2024.11	189p
日本国際児童図書評議会	こどもとほんのJBBY50年のあゆみ：JBBY 50th Anniversary	日本国際児童図書評議会	2024.11	8,119p
藤城清治[画]	100歳おめでとう影絵作家藤城清治（別冊暮らしの手帖）	暮らしの手帖社	2024.11	168p
エリック・カール[画]、ペンギン・ランダムハウス編、前沢明枝訳	色彩の魔術師エリック・カールの絵本とアート	偕成社	2024.12	135p
ショーン・ターン著、岸本佐知子訳	クリーチャー：絵、スケッチ、そしてエッセイ	求龍堂	2024.12	223p
早川裕	絵本の輪郭と補助線：絵本の読み方・創り方（集文社ブックレット）	集文社	2024.12	[31p]
船木伸江監修	読んでみよう！もしものときの防災ブックガイド：小中学生のための500冊	日外アソシエーツ	2024.12	209p

● 図録

著者名	書名	発行(出版社)	発行年月	頁数
高楼方子[ほか]寄稿、布施道(武蔵野市立吉祥寺美術館)執筆・編集	出久根育展 チェコからの風：静寂のあと、光のあさ	武蔵野市立吉祥寺美術館	2024.1	47p

ひまわりや監修、島根県立石見美術館編著	111年目の中原淳一	青幻舎	2024.1	272p
石川県立美術館編集・執筆	脇田和と佐藤忠良：子どもへのまなざし	石川県立美術館	2024.4	129p
鬼頭美奈子(名都美術館)執筆、名都美術館編集	福田豊四郎と堀文子ー描く喜び、生きる喜びー：福田豊四郎生誕120年・堀文子没後5年企画：特別展	名都美術館	2024.4	79p
野坂悦子[ほか]執筆、丹治史彦編集	ブルーナ絵本展	朝日新聞出版	2024.4	254p
三村明執筆、柴田こずえ[ほか]編集	不思議の国のアリス展：出版160周年記念	サンエムカラー	2024.4	207p
岡部昌幸監修・執筆、高橋世織[ほか]執筆、河野朋子[ほか]編集	生誕140年YUMEJI展：大正浪漫と新しい世界：夢二郷土美術館コレクション	産経新聞社	2024.6	335p
勝田琴絵(名古屋市美術館)・塚田美紀(世田谷美術館)・新田量子(郡山市立美術館)[ほか]編集、西郷南海子[ほか]執筆	北川民次 メキシコから日本へ	国書刊行会	2024.6	295p
岩井俊雄・エルキ・フータモ・橋本典久[ほか]執筆、坂本のどか[ほか]編集	光と動きの100かいだてのいえ：いわいとしお×東京都写真美術館：19世紀の映像装置とメディアアートをつなぐ	東京都歴史文化財団東京都写真美術館	2024.7	168p
オバケ研究所編集	オバケ？	ブルーシープ	2024.7	227p
金井紀子(神戸市立小磯記念美術館)企画・編集	絵本の旅：グリム、世界の昔話、ゆかりの作家と神戸の出版文化：特別展	神戸市立小磯記念美術館	2024.7	103p
ザ・キャビンカンパニー著、笠井直子編集	童堂賛歌：大絵本美術展	小学館	2024.7	71p
東京都美術館編集、大橋菜都子・倉科光子執筆	大地に耳をすます 気配と手ざわり [ミロコマチコ収載]	東京都歴史文化財団東京都美術館	2024.7	202p
平岩茉侑佳・高木佳子(板橋区立美術館)・村内みれい(同)・松岡希代子(同)編集	2024イタリア・ポーロニャ国際絵本原画展	日本国際児童図書評議会(JBBY)	2024.7	186,[5]p
宮城県美術館・ひろしま美術館編集	絵本のひみつ展：宮城県美術館コレクション	キュレイターズ	2024.7	107p
神奈川文学振興会編集	古田足日のぼうけん：没後10年	県立神奈川近代文学館・神奈川文学振興会	2024.8	32p
中日新聞社・イルフ童画館編集、黒柳徹子[ほか]執筆	武井武雄 幻想の世界へようこそ	求龍堂	2024.8	237p
家田奈穂(平塚市美術館)編集	蒔谷虹児展：大正・昭和のモダニスト	平塚市美術館	2024.10	215p
柚木沙弥郎[作]、水沢勉監修	柚木沙弥郎：永遠のいま	平凡社	2024.10	255p
ギャラリー エー クワッド編集	本とおはなしの楽しさを子どもたちに 松岡享子からの贈り物：東京子ども図書館50周年記念	ギャラリー エー クワッド	[2024.11]	37p
松岡希代子・森泉文美編著	レオ・レオーニと仲間たち	青幻舎	2024.11	287p

補遺 (図書)

著者名	書名	発行(出版社)	発行年月	頁数
石井正己	日本の昔話百科：ビジュアル版 新装版	河出書房新社	2023.12	95p

雑誌（2024年の年号表示のあるもの）

●絵本誌（絵本関連の特集・連載・記事を記載）

誌名・発行（出版社）	巻号（年月号or発行年月）	記事名・著者・掲載頁（or頁数）
『絵本BOOKEND 2024』 絵本学会（ぶんしん出版発売）	年刊 21号（2024.10）	特集1＜私のお薦めの絵本＞（『ジャリおじさん』不条理絵本の誕生）穴澤秀隆 pp.4-7、「絵本の贈りもの」生田美秋 pp.8-11、「長く心に残る絵本：歳を重ねるとのこと」生駒幸子 pp.12-15、「透きとおる絵本の体験：高い山の上に」かわこうせい pp.16-19、「レトリア父子の絵本芸術言葉と絵の協奏が伝える戦争の正体」佐藤博一 pp.20-23、「バージニア・リー・バートン『せいめいのれきし』」竹内美紀 pp.24-27、「『ピーターラビットのおはなし』：絵本の「ことば」から文学へのいざない」永井雅子 pp.28-31、「生きものを描いた画家 藪内正幸の『くちばし』の特質」藤本朝巳 pp.32-35）、特集2＜お薦めの絵本2023：全国の絵本専門店と絵本美術館より＞ pp.36-41、＜この絵本、実は…＞「長新太『つきよ』：「これが良い絵本か？」とイギリス側の担当者は言った」正置友子 pp.42-43、＜第27回 絵本学会大会報告＞（「基調講演 アーサー・ビナード氏（詩人・絵本作家）『さがしています』をさがしつづける：絵本をレンズに、この揺れる列島のこれからを見つめよう。」穴澤秀隆 pp.44-49、「インタビュー映像：「いま、ウクライナから、私たちの声を」を通して考えること」水澤尚喜 pp.50-52、「ラウンド・テーブル1 ゲスト：長野ヒデ子 コーディネーター：穴澤秀隆 コメンテーター：藤本朝巳 絵本と戦争：非平和という概念を軸に」藤本朝巳 pp.53-55、「ラウンド・テーブル2 かがくい絵本と子どもの笑顔：障がい児への眼差し」鈴木穂波 pp.56-57）、特別寄稿「かこさとしの人と作品の特質」藤本朝巳 pp.58-63、評論「長谷川義史創作と表現」生田美秋 pp.64-69、＜BOOK REVIEW＞（「伊恵貞著『韓国絵本にみる絵本の言語文化』」市川亭子 p.70、「中川素子著『世界をひらく60冊の絵本』」林左和子 p.71、「正置友子著『生きるための絵本：命生まれるときから命尽きるときまでの絵本127冊』」藤本朝巳 p.72、「小松麻美著『日本語教育に創作活動を！：詩や物語を書いて日本語を学ぶ』」伊恵貞 p.73）、＜絵本批評2023 国内絵本・海外翻訳絵本・新人作家＞（神保和子 p.74、赤羽尚美 p.75、岡田達信 p.76、中山美加 p.77）、「絵本研究動向2023」『絵本学』「絵本研究参考文献目録」作成グループ：丸尾美保・小泉直美・関純奈・坂本淳子・永田桂子 pp.78-85、＜この絵本、実は…＞「『ざしき童子のはなし』の空気を求めて：岡田千晶先生、岩手へ行く」宮崎詞美・聞き手・構成 pp.86-87、＜往復書簡＞「絵本翻訳・絵本翻訳研究」藤本朝巳・伊恵貞 pp.88-96、連載＜児童書店・図書室＞「本と人、人と人が出会う場所」高橋康子 pp.97-99、連載＜絵本美術館紹介＞（4）「やいづ えほんと：図書館から作るわたしたちの「まち」」鈴木律子 pp.100-103
『おおしま絵本文化』 射水市絵本文化振興財団	年刊 30号 （2024.8）	記念筆録「いのちの絵本2023」山根基世・村上信夫 pp.3-8、＜研究ノート＞（「令和5年度絵本のつどい事業」渡辺智子 pp.15-18、「令和5年度手づくり絵本コンクール事業」田中祥子 pp.19-22、「令和5年度絵本原画企画展示事業及びライブラリー事業」麦谷貴子 pp.23-28）、＜資料編＞（「おおしま国際手づくり絵本コンクール2023ジュニアの部入賞者」p.44、「おおしま国際手づくり絵本コンクール2024入賞者」p.45、「射水市大島絵本館令和5年度前期/後期イベントカレンダー」pp.46-47、「射水市大島絵本館2024年度おすすめ絵本40冊」p.48、「絵本館のあゆみ」pp.54-65）、「おわりに～大島絵本館からのメッセージ」菊池政則 p.66
『月刊MOE』 白泉社	月刊 46巻1号 （2024.1）	特集＜アルプスの国スイスへ 現地取材で見つけた！ハイジの幸せな暮らし＞pp.4-33、「スペシャル鼎談 絵本のはなし：羽生善治・藤井聡太・ヒグチユウコ」pp.59-64、「海外作家インタビュー ハリエット・ヴァン・レーク」pp.72-73、「海外作家インタビュー シドニー・スミス『おばあちゃんのにわ』」pp.88-91、連載＜日本の絵本 100年100人100冊＞（最終回）「新しい希望の絵本」広松由希子 pp.102-103
	46巻2号 （2024.2）	特集＜第16回MOE絵本屋さん大賞2023＞pp.4-35、「tupera tupera20周年 絵本の新たな発想とカタチ」pp.59-67、「出久根育 チェコでの暮らしと創作のこと」pp.68-71
	46巻3号 （2024.3）	特集＜MOE厳選「かわいい!」を探しに美術館へ 展覧会2024：絵本と漫画と美術と＞pp.6-39、「五味太郎 絵本創作のはなし」pp.68-71、「絵本作家 ザ・キャビンカンパニー」pp.76-81
	46巻4号 （2024.4）	特集＜千年前の私たちに会いに行く「源氏物語」と平安の女性たち＞pp.4-35、「エルサ・ベスコフが愛したもの」pp.84-87、「美しいノンフィクション絵本：エレース・ドルヴェール×ヤン・パウル・スクッテン対談」pp.88-91
	46巻5号 （2024.5）	特集＜初来日のカラー原画で楽しむ 不思議の国のアリス＞pp.4-35、「藤城清治さん おめでとぅ100歳」pp.66-69
	46巻6号 （2024.6）	特集＜白泉社50周年記念 永久保存版「花とゆめ」LaLaから生まれた 少女漫画大特集＞pp.4-39,59-77
	46巻7号 （2024.7）	特集＜ヨシタケさんに聞いてみよう！：おなやみそうだんはじめます＞pp.4-35、「いわさきちひろが描き続けたもの」pp.59-65、「鈴木のりたけ キャンプと絵本と子どもたち」pp.83-89
	46巻8号 （2024.8）	特集＜新刊『映画とポスターのお話』発売記念 ヒグチユウコが選んだ映画105＞pp.6-35

『月刊MOE』 白泉社	46巻9号 (2024.9)	特集<作家デビュー50周年記念 絵本作家 五味太郎>pp.4-33、「ジョン・クラッセン 柴田元幸『ドクロを語る』」pp.34-39、「自由で気ままな暮らし ばばあちゃん」pp.74-77
	46巻10号 (2024.10)	特集<一度ハマれば抜け出せない キューライスの沼>pp.6-35、「読めば読むほど面白い 絵本『バムとケロ』」pp.61-69、「リサとガスパールがやってきた」pp.90-93
	46巻11号 (2024.11)	特集<フィンランド現地取材もたっぷり ムーミンマグのある暮らし>pp.6-43
	46巻12号 (2024.12)	特集<大人が夢中になるファンタジー 葬送のフリーレン>pp.4-35、「ターシャ・テューダーの心豊かな暮らし」pp.66-69
『この本読んで！』 (一財)出版文化産業振興財団 (JPIC)	季刊 春号 24巻1号 (通巻90号) (2024.3)	特集<第5回 読みきかせの達人が選ぶ 親子で読んでほしい絵本大賞 発表> («大賞『ねことことり』」pp.4-5、「2位『まよなかのゆうえんち』」p.6、「3位『ようかいサッカー』」p.7、「この本読んで! 読者賞」pp.12-13)、特集<ハッピーエンドの本>pp.16-25 («子どもことこの絵本の役割: 絵本で経験する喜怒哀楽が子どもの想像力を育てる」鈴木みゆき・荒木晶子/取材・文 p.25)、「児童書の書店員が選ぶ 数の絵本」丸善丸広百貨展飯能店/福島亮子 p.26、特集<うっかりヨミ子さん 読書バリアフリーを学ぶ>pp.27-34、連載<こんには! 絵本作家さん>「スギヤマカナヨ」pp.35-39、連載<子どもたちの未来とSDGs絵本>(17) 谷口和恵 p.63、連載<保育者のたまごたちと絵本>(15) 山口理沙 pp.68-69、連載<支援の必要な子と絵本>(13) 東京都新宿区立戸山図書館 pp.70-72、連載<詩人・ディ絵語の絵本案内>(11) 『『梨の子ベリーナ』(再話/イタルカルヴィーノ 訳/関口英子 絵/酒井駒子)』ディエゴ・マルティーナ p.73
	夏号 24巻2号 (通巻91号) (2024.6)	大特集<こんには! 絵本作家さん ザ・キャビンカンパニー>pp.4-17、特集<未来を拓く絵本>pp.18-29、プチ連載<子どもと一緒に平和を考える本>pp.30-31、連載<「児童書の書店員が選ぶ 夏に贈る絵本」本屋わわわ/升川知子 p.32、特集<防災を学ぶ絵本と紙芝居>pp.33-39、連載<保育者のたまごたちと絵本>(16) 末成妙子 pp.66-67、連載<詩人・ディ絵語の絵本案内>(12) 『『きみにおやすみをいうまえに』(文/ジオルジョ・ヴォルベ 絵/パオロ・プロイエッティ 訳/ほりぐちみのり)』ディエゴ・マルティーナ p.68、「国語の教科書に載っている児童文学 小学校1~6年 上半期」pp.72-75
	秋号 24巻3号 (通巻92号) (2024.9)	特集<海外生まれの絵本を楽しもう>pp.4-23 («リチャード・スキヤリーのシリーズなど 翻訳絵本のさきがけ」BL出版/辻美千代 p.11、「シドニー・スミスさんからのメッセージ」pp.18-19、「本だからこそのおもしろさがある作品に出合ってほしい」宇野和美 p.20)、連載<「児童書の書店員が選ぶ 秋に贈る絵本」コーチャンフォー旭川店/山下智恵子 p.21、プチ特集<子どもの本の作家年譜一覧(海外 画家編)>pp.22-25、特集<秋の絵本>pp.28-33、<不定期連載 14 見返し美人>pp.34-36、連載<こんには! 絵本作家さん>「きたむらさとし」pp.37-41、連載<保育者のたまごたちと絵本>(17) 大國ゆきの pp.68-69、連載<支援の必要な子と絵本>(14) 岩田美津子 pp.70-71、連載<詩人・ディ絵語の絵本案内>(13) 『『はるにきみがめざめたら』(作/ジオルジョ・ヴォルベ 絵/パオロ・プロイエッティ 訳/ほりぐちみのり)』ディエゴ・マルティーナ p.72、「国語の教科書に載っている児童文学 小学校1~6年 下半期」pp.74-75
	冬号 24巻4号 (通巻93号) (2024.12)	特集<ことばを味わう絵本>pp.4-17 («絵では描けない、ことばだけで心に残るものを」林木林 p.13)、特集<クリスマス絵本>pp.20-25、「児童書の書店員が選ぶ 冬に贈る絵本」リプロ光が丘店/山井洋子 p.26、連載<こんには! 絵本作家さん>「真珠まりこ」pp.27-31、連載<子どもたちの未来とSDGs絵本>(20) 谷口和恵 p.55、連載<保育者のたまごたちと絵本>(18) 大國ゆきの pp.60-61、連載<支援の必要な子と絵本>(15) 岩田美津子 pp.62-63、連載<詩人・ディ絵語の絵本案内>(14) 『『ソウがあのかをすきになると』(作/ダヴィデ・カリ 絵/アリーチェ・ロッチェ 訳/橋本あゆみ)』ディエゴ・マルティーナ p.66、「第5回 絵本専門士が選ぶ「逢いたい誰かに贈る絵本」ブックリスト」p.69
24巻1~4号 (通巻90~93号)	「おいしい絵本」(26)~(29) 中島京子 各回 2p、「もうよんだ? 新刊100!!」各号11p、「JPIC読書アドバイザーおすすめ! おはなし会プログラム+行事絵本・季節の絵本」各号4p、「おはなし会プログラム特別編」(21)~(24) 児玉ひろ美 各回1p、「記念日に読みたい絵本」各号1p	
『さがるまーた:げんきMOOK』 講談社	2号(2024.12)	「おてがみからはじまるものがたり」しんよんひ p.6、「リボンがむすぶ 絵とことば」高田せい子・はせがわさとみ p.24、「ひびきあう絵と言葉」佐藤弓生・町田尚子 p.72、「おんにんのはなし」寺門孝之 p.80、「おくりものをかんがえよう」トーマス・リー p.105、「いま、わたしたちが えがくこと」マクラ・マタール・まつむらまいこ p.111、「帰りの道から、おはなしがうまれる」飯野和好 p.121、「絵本をつくりたい! と思ったら」塩見亮 p.134、「さがるまーたVOL.2ができるまで」/編集後記 p.135、「さがるまーたVOL.1 ニュース」/編集後記 p.136

●児童文学・児童図書館誌・美術館誌(絵本関連の特集・連載・記事を記載)

誌名・発行(出版社)	巻号(年月号or発行年月)	記事名・著者・掲載頁(or 頁数)
『安曇野ちひろ美術館 美術館だより』 安曇野ちひろ美術館	No.113 (2024.2)	「展示紹介:いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ あ・そ・ぼ(企画協力森口佑介)」高津つぐみ pp.2-3、「展示紹介:ちひろ美術館コレクションに見る「あそび」」上島史子・「活動報告:安曇野ちひろ公演 トットちゃん広場 特別展示・イベント紹介:『続 窓ぎわのトットちゃん』映画「窓ぎわのトットちゃん」関連イベント」山本理乃 p.4、「ひとことふたことみこと」・「美術館日記」・「風」Vol.6 船本裕子 p.5
	No.114 (2024.5)	「展示紹介:いわさきちひろぼつご50年 こどものみなさまへ みんな なかまよ(企画協力塩瀬隆之)」原島恵 pp.2-3、「展示紹介:ちひろ美術館コレクションに見る「平和」」山田実穂・「2024年3月18日(月) スージー・リー講演会「物語はあなたにあり」」スージー・リー、通訳申明浩 p.4、「ひとことふたことみこと」・「美術館日記」・「新収蔵作品紹介⑧」穴倉恵美子 p.5
	No.115 (2024.8)	「展示紹介:ぼつご50ねん いわさきちひろ こどものみなさまへ あれ これ いのち(企画協力鷲谷いづみ)」穴倉恵美子 pp.2-3、「展示紹介:ちひろ美術館コレクション 野のいのち」矢野ゆう子・「活動報告:2024年7月26日(金)・27日(土) 塩瀬隆之氏による中学生ボランティア研修」原島恵 p.4、「ひとことふたことみこと」・「美術館日記」・「風」Vol.10 船本裕子 p.5
『学校図書館』 全国学校図書館協議会	880号(2024.2)	実践研究「読書指導と環境の改善(4)校内図書セット(大型絵本)の検討」三宅治朗 pp.56-59
	884号(2024.6)	「第29回「日本絵本賞」選考報告」松本猛 pp.52-54
	887号(2024.9)	特集<読書バリアフリー はじめの一步> (「手で読むバリアフリー資料」岩田美津子・高倉嗣昌・スギヤマカナヨ pp.20-22、「言葉のバリアフリー絵本」石原弘子 p.26、「特別支援学校での読み聞かせ:都立多摩図書館の実践から」吉井嘉奈子 p.39、「多言語読み聞かせ活動を始めましょう」奥村恵美 p.41)
	884、886、888、890号 (2024.6、8、10、12)	連載<絵本のそばで…> 884号:(1)「マルチ・タレントの絵本作家:堀内誠一の素顔」/886号:(2)「あと味の悪さを受け止める『ねんどの神さま』:「ズッコケ三人組」の那須正幹が描いた戦争」/888号:(3)「ナンセンス・ワールドの王様:長新太「生理的にも心地よい絵本」」/890号:(4)「『100万回生きたねこ』も『ぺこぺこ』もbitter:佐野洋子 筋金入りの「いっぱし」を生きる。」竹迫祐子 各回3p
	885、887、889号 (2024.7、9、11)	連載<心に届く読み聞かせ> 885号:(1)「読み聞かせとの出会い」/887号:(2)「メリハリのある読み聞かせ」/889号:(3)「芯のある 届く声の作り方」阿南貴恵 各回pp.64-66
『学校図書館速報版』 全国学校図書館協議会	2143~2165号 (毎月1、15日発行)	連載<本づくりの現場から> 2143号:「白泉社 MOE編集部」石川真紀子/2147号:「ひさかたチャイルド編集部」市川宣子/2149号:「ひかりのくに 書籍編集部」宮田真早美/2151号:「玉川大学出版部 編集課」田中哲哉/2153号:「合同出版 編集部」坂上美樹/2155号:「少年写真新聞社」野本雅央/2157号:「青春出版社 プライム涌光編集部」野島純子 各回1p
	2142~2164号 (毎月1、15日発行)	連載<本と学びの「今」をめぐる Interview> 2144号:「葉祥明さん(絵本作家、画家、詩人)」/2146号:「本田麻衣子さん(国立国会図書館 関西館 図書館協力課 障害者図書館協力係)」/2148号:「黒柳徹子さん(俳優・ユニセフ親善大使)」/2150号:「松井裕次郎さん(国際子ども図書館 資料情報課展示係長)」/2154号:「ザ・キャビンカンパニー 阿部健太朗さん 吉岡紗希さん(絵本作家)」/2164号:「plaplast 近森基さん 小原藍さん(アートユニット)」 各回1~2p
『季刊 子どもと本』 子ども文庫の会 (発行人:山本まつよ)	176号(2024.1)	「ロバート・マックロスキー②」青木祥子 pp.2-12、連載<リストに加えたい絵本と本> (『遠くから見たら島だった』[ブルー・ムナーリ 関口英子訳]pp.13-16)、「ピーターラビットの世界⑩」青木祥子 pp.27-31
	177号(2024.4)	「ティギーおばさんを訪ねて」エリザベス・H スティーヴンス・青木祥子訳 pp.2-6、連載<リストに加えたい絵本と本> (『マークとピクシー』[ルイーゼ・ファティオ作 ロジャー・デュボアサン絵]『コウモリの本』[シャーロット・ミルナー作 絵 松浦直美訳]pp.7-11)、「ピーターラビットの世界⑪」青木祥子 pp.22-25、「絵本を楽しむ会」に参加して」pp.35-42
	178号(2024.7)	「ピーターラビットの世界⑫」青木祥子 pp.25-30、連載<小児病棟の子どもたち> ②「M君とセンダックの絵本」宮脇和代 pp.39-40、連載<学校で子どもと本を読む> ⑩「『かあさんのいす』・『ありがたいこつす』・『図書館に児童室ができた日』・『アンディとらいおん』」野田ひかる pp.40-42
	179号(2024.10)	「『おやすみなさい おつきさま』と『かいじゅうたちのいるところ』」勝野由美子 pp.2-4、「マーガレット・ワイズ・ブラウン」青木祥子 pp.4-10、連載<リストに加えたい絵本と本> (『睡眠のみみつ』[ヴィッキー・ウッドゲート文 絵 山崎正浩訳]p.15)、「北川民次と子どもと絵」青木祥子 pp.27-30、連載<小児科病棟の子どもたち> ③「Nちゃんと『かしいびる』」宮脇和代 pp.39-40、連載<学校で子どもと本を読む> 「『かあさんのいす』」野田ひかる pp.41-42

『国立国会図書館月報』 国立国会図書館	756号(2024.4)	「講演会 絵本に描かれる食べもの：異文化理解、暮らし、ジェンダーの視点から」生駒幸子(講師) pp.5-14
	763号(2024.11)	「国際アンデルセン賞 受賞作家・画家展」 pp.31-35
『子どもと科学よみもの』 科学読物研究会会報編集部	538号(2024.1)	<『理科教室』「子どもに読ませたい科学の本」> (2022年12月号から転載) 『地球がうみだす土のはなし』[大西健夫文 瀧澤彩文 西山竜平絵] 中川僚子 pp.15-16
	539号(2024.3)	「くらべ読みの会 7・9・10・11・12月 元素入門の本」小磯悦子 pp.6-10、<『理科教室』「子どもに読ませたい科学の本」> (2023年1月号から転載) 『旅をしたがる草木の実は知恵 ゲッチョ先生の草木の実コレクション』[盛口満文・絵] pp.18-19、<この本読みましたか？> 『はっぱのほん』『おちばのほん』[いわさゆうこ著] 小川真理子 p.23
	540号(2024.4)	「2月例会 会員出版社によるZoomでサイエンスビブリア第2弾！」二階堂恵理(報告) pp.2-6、<この本読みましたか？> 『ふしぎがいっぱい！ サメ図鑑』[佐藤圭一・富田武照監修] 中村涼子 p.6
	542号(2024.6)	<『理科教室』「子どもに読ませたい科学の本」> (2023年4月号から転載) 『クジラの進化』[水口博也文 小田隆絵 木村敏之監修] pp.12-13、<この本読みましたか？> 『行ってみたいくなる深海の図鑑』[渡部裕美著] 中洋子 p.14
	544号(2024.8)	「くらべ読みの会 1月、2月、3月、4月「たくさんのふしぎ傑作集」を読む(第1回)」佐藤マリ(報告) pp.10-15、<『理科教室』「子どもに読ませたい科学の本」> (2023年6月号から転載) 『ふしぎいっぱい学校の木：かんさつ・あそび・実験』[高柳芳恵文・写真] 増本裕江 pp.19-20
	545号(2024.10)	「鈴木純さん初めての絵本『シロツメクサはともだち』とリアル観察会」原田佐和子 pp.14-15、「読み聞かせ実践報告」吉長聡子 p.16、<『理科教室』「子どもに読ませたい科学の本」> (2023年7月号から転載) 『ずかん 貝のからだ』[清水洋美文 友永たろ絵 倉持卓司監修] pp.18-19
	546号(2024.11)	「9月のオーロラの会」『石は元素の案内人』[たくさんのふしぎ傑作集 田中陵二文・写真] 『光る石 北海道石：新鉱物Hokkaidoite はっけん記』[たくさんのふしぎ2024年8月号 田中陵二文・写真] 小川真理子(報告) pp.11-12
547号(2024.12)	「くらべ読みの会 5月、6月、7月、9月、10月「たくさんのふしぎ傑作集」を読む(第2回)」中村涼子 pp.10-13、<この本読みましたか？> 『シリーズ〈発達障害のお友だち〉(全4巻)』[宮尾益知監修] 吉長聡子 p.17 / 『はじめちよろちよろ中ぱっぱ ごはんを炊く』[たくさんのふしぎ2024年4月号 森枝卓士文・写真] 近藤君子 pp.18-19 / 『VÉGÉTAL 植物が彩る切り絵・しかけ図鑑』[エレヌ・ドゥルヴェール絵 ジュリエット・アインホーン文 檜垣裕美訳 矢守航監修] 近藤君子 p.19	
『こどもとしょかん』 東京子ども図書館	180号(2024.1)	連載<この人、この本> (32) 「翻訳家 松谷さやかさん」 pp.28-29、<追悼 松岡享子> 「育ての親、松岡享子さん」 教文館こどもの本のみせナルニア国/川辺陽子 pp.32-33
	181号(2024.4)	書評『わたしは地下鉄です』(キム・ヒョウン文・絵 万木森玲訳) 古賀由紀子 p.21、連載<海トーク：『知識の海へ』よりご紹介> 『『エジプトのミイラ』(アリキ・ブランデンバーク文・絵 神鳥統夫訳) 伏見和子 p.24
	182号(2024.7)	連載<海トーク：『知識の海へ』よりご紹介> 「日本の野鳥」シリーズ(藪内正幸ぶん・え) 田村あづさ p.27
『子どもと読書』 親子読書地域文庫全国連絡会	463号(2024.1)	特集<支援が必要な子どもたちと読書> (「障害のある子どもと読書バリアフリー」 宇野和博 pp.2-5、「特別支援学校の読書環境現在・未来」 生井恭子 pp.5-8、「りんごの棚と特別支援学校への支援」 吉井嘉奈子 pp.8-10、「誰もが絵本を楽しめる社会を目指して」 岩田美津子 pp.11-13、「DAISY図書について」 村上博行 pp.13-16、「手話言語で読書交流」 梨屋アリエ pp.16-18)
	464号(2024.3)	特集<2023年 子どもの本この一年> (「絵本」 宮田香子 pp.2-5、「低学年」 竹井順子 pp.5-8、「自然科学」 金澤磨樹子 pp.17-20、「二〇二三年をふりかえって」 繁内理恵 pp.23-27)
	465号(2024.5)	特集<植物の本のたのしさを子どもたちへ> (「植物の本で楽しみ、ふしぎをのぞく」 増本裕江 pp.6-9、「『ひがなばな』と『稲と日本人』のこと」 脇明子 pp.9-11、「植物の本を使って、子どもとあそぶ」 高柳芳恵 pp.11-13、「子どもたちに届けたい植物の本」 木本裕子 pp.13-16、「文庫で愛でた植物と本」 草谷桂子 pp.16-18、「植物、おもしろい！」 村山琴音 p.19)
	466号(2024.7)	特集<変わってきた著作権> (「具体例で考える「おはなし会」での著作権のポイント」 大森龍太 pp.6-9、「文庫活動の中から」 田村康代 pp.15-16)

『子どもと読書』 親子読書地域文庫全国連絡会	468号(2024.11)	特集<子どもが思いを伝えられる社会に> (「コロナ下に生まれた3冊の絵本:子どもが尊重され、おとなと語り合う社会を目指して」長瀬正子 pp.8-10、「自分の言葉で話そう:絵本の学びを通して」井上美子 pp.12-15)
	463~468号 (2024.1~11)	連載<私たちのなかま>463号:「障害のある子どもたちと楽しむおはなし会:東京・おはなしの会 うさぎ」小野寺千秋/464号:「人と本を繋ぐ 赤ちゃんから大人まで:長野県木曾郡大桑村・ぶんこ「モモ」」原田沙千子/465号:「人と人がつながる会を目指して:鹿児島県・南種子町おはなし子ども会」藤原ひとみ/466号:「地域で子どもたちを育てる読書活動:千葉県・市川よみっこ運動実行委員会」加藤可代子/467号:「文庫活動50年たってみて 初期のころの思い出、そして広がって!:東京都世田谷区・山の木文庫」富本京子/468号:「本から伝える夢と希望:福岡県篠栗町:絵本とおはなしべべべべらん」一柳より子 各回3p
	463、465~468号 (2024.1、5~11)	連載<子どもとよむ1冊 娘との読書時間> 463号:「娘との読書時間[『ちよつとだけ』]」鍵和田ゆみ子/467号:「心が弾む幸せな時間[『ぼぼぼぼぼ』]」西野梨佳/468号:「絵本で発見、赤ちゃんの個性 [『おつきさまこんばんは』]」小野友実 各回2p
『子どものしあわせ』 日本子どもを守る会	881号(2024.7)	特集<行動する若者たち> (「絵本朗読劇『ばらの祈り~死の灰を越えて』に取り組んで」荒浪莉彩 pp.62-63)
	882号(2024.8)	特集<武器を捨て平和の種を一戦後79年目の夏に> (「『平和の種が見つかる絵本55』を上梓して」中本晶子 pp.16-21)
	875~886号 (2024.1~12)	連載<しあわせ図書館:新刊紹介> 875号:『ノコギリザメのなみだ』/877号:『いえ あるひせんそうがはじまった』『はるさんと1000本のさくら』/878号:『うさぎのソロモン、へんしんする』/879号:『トコトこだいこんりょうりたび』『わたしたちのケーキのわけかた』『ちきゅうのかいだん』/880号:『こどもべやのよる』『セリ・パセリのわらべうた』『アプリー・ダプリーのわらべうた』/881号:『あさいち』『みどりいろのつりがね』/882号:『しごとのどうぐ』『せがのびる』『さいごの木 オリーブと希望のたね』/883号:『ものがたりがうまれるとき』『そんなことも知らないの?』/884号:『アナトール パリの空をとぶ』『おもちゃや屋のクイロー』/885号:『おばあちゃんの白い鳥~ガザのものがたり』/886号:『ねこのオーランドー 魔法のじゅうたん』『パインさんのむらさきのいえ』読書のアニマシオン研究会・吉澤志津江 各回2p
875~886号 (2024.1~12)	連載<子どもと読む いっしょに読む>877号:(24)『三びきのやぎのがらがらどん』/878号:(25)『三びきのやぎのがらがらどん』/879号:(26)『三びきのやぎのがらがらどん』『絵本論:瀬田貞二 子どもの本評論集』/880号:(27)『おだんごばん』/881号:(28)『あおい目のねこ』/883号:(30)『海べのあさ』/884号:(31)『すばらしいとき』『すばらしいとき 絵本との出会い』/885号:(32)『サリーのこけももつみ』『なめとこ山の熊』/886号:(33)『どんぐり』吉澤志津江 各回2p	
『こどもの図書館』 児童図書館研究会	71巻1号 (2024.1)	特集<韓国絵本の魅力>(「韓国の絵本の魅力」申明浩 pp.3-5、「『マンヒのいえ』の扉を開けて:二十年前スタート現在進行中の韓国絵本への旅」森岡由紀子 pp.5-8)
	71巻3号 (2024.3)	特集<こどもの本、この一年> (「絵本」大平きよみ pp.2-5)、「児図研70周年記念講演会:児童図書館研究会70周年・東京子ども図書館50周年記念 渡辺鉄太氏講演会『しょうぼうじどうしゃじぶた』を書いた写真屋のガキ」p.12)
	71巻5号 (2024.5)	報告特集<2023年度(令和5年度) 児童図書館研究会全国学習会 広島学習会:一人ひとりに本を届ける> (「基調講演 ものがたりの力・場の力・そして…:講師 村中李衣氏(児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授)」小西清美(報告) pp.2-3、「第1分科会 子どもに手渡す本を選ぶ:読みつがれた絵本の魅力をさぐる:講師 小林いづみ氏(呉ストーリーテリング研究会 代表) 杉山きく子(東京子ども図書館)」梅地佳代子(報告) pp.4-5、「第2分科会 ものがたりとの出会いが少ない子どもたちの支援を考える:講師 村中李衣氏(児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授)」鈴江夏(報告) pp.6-7、「第4分科会 子どもたちへ本を届ける:オブザーバー 徳山佳代子氏(笠岡市立図書館)」三浦訓江(報告) pp.10-11、「夜の交流会」三浦訓江・遠藤教子・占部奈生美(報告) pp.12-13)
	71巻6号 (2024.6)	「おはなしを子どもにとどける:学校・保育園へおはなしを届ける」吉本寛子 p.12
	71巻7号 (2024.7)	「特別展「宮城県美術館コレクション絵本のひみつ展」の見どころ」水木祥子 pp.12-13
	71巻8号 (2024.8)	特集<2024年度 児童図書館研究会総会> (「2024年度 児童図書館研究会香川学習会 報告 おはなしおばさんに学ぶ赤ちゃんのおはなし会:講師:藤田浩子さん」山西朋子 p.13、「児童図書館研究会京都支部主催 第3回ミニ学習会報告 選書のイロハ:子どもの本を見る目、選ぶ目:出口宏子さん」杉原由紀枝(報告) pp.14-15)、「おはなしを子どもにとどける:留守家庭児童会でのストーリーテリングの実践報告」時恭子 p.17
71巻9号 (2024.9)	「おとなが子どもたちと絵本を読むということ」正置友子 pp.8-9	

『こどもの図書館』 児童図書館研究会	71巻10号 (2024.10)	「アトリエ訪問:田島征彦さん 戦争の記憶 絵本でつなぐ」山本祥子 pp.6-9、「子どもが本にであう場所 智恵と和の広がる図書館:であい、つながり、まなびあう」葉狩麻早子 pp.10-11、「紙芝居「ピキニの海のねがい」を本にする! 編集記」西内義人 p.13
	71巻11号 (2024.11)	「子どもの本コンシェルジュの誕生」尾上奈緒 pp.2-3
	71巻12号 (2024.12)	ひろば「世界の昔話絵本の魅力」鈴木加奈子 p.1、特集<アフリカ子どもの本プロジェクト> (「アフリカ子どもの本プロジェクトについて」さくまゆみこ pp.2-4、「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本」展を開きませんか?」福本友美子 pp.4-6)、「おはなしはどこからきたの?」鈴木加奈子 p.8、「2024年度 児童図書館研究会近畿支部 夏の学習会 戦前・戦中・戦後の絵本:あの頃、こんな絵本があった:講師:正置友子氏」山本麻美 pp.12-13
『こどもの本』 日本児童図書出版協会	618号(2024.3)	<2023年度児童図書・主要受賞作品一覧>pp.36-37
	626号(2024.11)	<特別企画>「こどもの本を振り返る:二〇二四年上半期」土居安子 pp.2-5
	616~627号 (別冊を除く) (2024.1~12)	連載<私の新刊>616号:『どんぐり』館野鴻 p.2、『まるごとちゅうカレー』チョーヒカル p.4、『こまいぬ ぼしゅうちゅう』尾崎玄一郎・尾崎由紀奈 p.5/617号:『ぎんいろのボタンとそらとぶそり』左近蘭子 p.2、『キラキラげんきなめのひみつ』すみもとななみ p.3/618号:『ソリアを森へ』杉田七重 p.3/619号:『ぶたくんの とどかない とどかない』ふくだじゅんこ p.2、『なすこちゃんとなねずみくん』堀米薫 p.3、『ねずくとパパのおるすばん』とねさとえ p.4、『ひみつのたからもの』豊福まきこ p.5/620号:『なかなおりしよ』やまはたマリー p.3、『みんなのいえ』たしろちさと p.5/621号:『きょうのフニフとあしたのフニフ』はせがわさとみ p.3、『いてもたっても』たけがみたえ p.4、『たんぼぼになりたくて』南塚直子 p.5/622号:『うちのピーマン』川之上英子・川之上健 p.33、『かんぱんのないコーヒーや』かめおかあきこ p.34、『てんごくまえデパート』長谷川あかり p.35/623号:『だいじなのは愛とふつかふかのまくら!』青山南 p.37/624号:『ひ』井上奈奈 p.2、『モルモットの ぺると きになる おきやくさま』なかやみわ p.3、『イチからつくる ホウキ』宮原克人 p.5/625号:『気をつよいちいさな女とわるいかいぞくのはなし』佐竹美保 p.2、『千両みかん』もとしたいづみ p.4、『にやあにやあたいそう』武本佳奈絵 p.5/626号:『あなふさぎのジグモンタとおおきなあな』とみながまい p.41/627号:『くまくんごまくんのバナナやさん』乾栄里子 p.3、『おでん せんとう』さとうめぐみ p.4、『きょう なにたべる?』松本圭以子 p.5
	617~618、623~624、627号 (別冊を除く) (2024.2~3、8~9、12)	連載<心に残る一冊>617号:『もうぬげない』葉一/618号:『せいめいのれきし』矢部太郎/623号:『三びきのやぎのがらがらどん』滝口悠生/624号:『おもちゃのくにのゆきまつり』清田隆之/627号:『おきなわ 島の声』佐喜眞道夫 各回1p
	617~618、620、622~627号 (別冊を除く) (2024.2~3、5、7~12)	連載<さがしています。こんな本> 617号:「おふるの本」/618号:「てがみ」/620号:「お金」/622号:「夏休みにおくる自然科学の本」/623号:「命」/624号:「スポーツ」/625号:「秋の行事」/626号:「クリスマスにおくる本」/627号:「仕事」各回2~3p
	別冊 (2024.5)	「乳幼児・小学生のための絵本ガイド 2024年版」pp.2-39
『子どもの本棚』 日本子どもの本研究会	663号(2024.1)	「絵本を読む」モリナガヨウ p.1、特集<もっと世界にふれたい! 行ってみたい! 出合いの1冊> (「本が広げる世界」前沢明枝 pp.21-23、「ベネチアの魅力」吉田真未 pp.24-25、「つれていって!つれていって! 私も一緒につれていって!」西嶋雅子 pp.26-27)
	666号(2024.4)	特集<食べる。食べるということ。> (「地球にかぶりつく:絵本『食べる』について」藤原辰史 pp.21-22、「食べることは生きること」霜鳥英梨 pp.26-27、「ブックトーク「食べるって楽しい!」(対象 2年生・3年生)」梶山玲子 pp.28-30、「食べ物から考える中学社会科の授業」笠井英彦 pp.30-32)、<My Message 子どもの本のつくり手から>「海に友達はいますか?」はらまさかず pp.38-39、<この本をとどけたい:読み継ぎたい本の魅力>「想像力の翼を広げてくれる絵本」[[『わたしのワンピース』西巻茅子著] 矢田真由美 p.40、「オンライン講演会 館野鴻さん「ぼくが絵本を描くということ、伝えたいこと」を聞いて」八方綾子 pp.42-43
	667号(2024.5)	特集<2023年 子どもの本をふりかえって> (「絵本」高山朗子 pp.18-22、「自然科学」加藤絹子 pp.32-34)、<「子どもの本の研修会」報告:今一度「読みみかせ」について考えよう> (「収穫満載の一日」赤尾昭子 p.42、「絵本の世界を伝えるスキルを磨きあう」木内桂子 p.43)

『子どもの本棚』 日本子どもの本研究会	668号(2024.6)	特集<ひとりひとりの子どもに寄り添う読書支援> (「多様な子どものニーズに応える学校図書館づくり」野口武悟 pp.21-23、「傍らに本を」吉成千夏 pp.24-26、「読書バリアフリーの実践 学校図書館でできること」梅田麻衣 pp.27-29、「みんなが本を楽しめるように」杉浦明日香 pp.30-31、「きょうだいにとって必要なもの」湯浅正太 pp.32-34)
	669号(2024.7)	「小さくてシンプルなねずみくん」なかえよしを p.1、<わたしのよむ>「子どもの笑顔あるところに平和あり」『花見じゃそうべえ』たじまゆきひこ作 尾場瀬淳美 pp.36-37
	670号(2024.8)	「絵本『なきむしせいとく』：沖縄戦に巻き込まれた少年の物語」田島征彦 p.1、特集<戦争を止める！：わたしのできること> (「学び、考え、行動につなげるための種をまく」田邊阿依美 pp.31-33)
	671号(2024.9)	特集<読書の秋をたのしむ：こんなことができます> (「子ども達との交流の場所としての文庫活動」渡部康夫 pp.30-32、「平田昌広さんの絵本から広がる世界」北村夕香 pp.32-34)、<わたしのよむ>「知ることで安心する」『みらいってなんだろう』『こころってなんだろう』ほそかわてん作・絵 羽地亜希子 pp.40-41、<この本をとどけたい：読み継ぎたい本の魅力>「誰かに守られる安心感や温かさに満たされる絵本」『すてきな三にんぐみ』ミー・アンゲラー作 合田真弓 p.42
	672号(2024.10)	特集<第56回 日本子どもの本研究会 全国大会報告 (1)未来をひらく子どもと本：子どもの今を見つめ、ともに生きる明日を考える> (「講座A 子どもの読書環境：これまでの子どもの読書運動に学び、今とこれからを考える」山内智代(報告) p.21、「講座B ブックトーク：シナリオで本に光を当てるブックトークを目指して」小野朋美(報告) p.22、「講座C ブックウェビング：『てぶくろ』を読む：ブックウェビングの手法を通して」成田珠恵(報告) p.23、「講座D 読書のアニメーション：詩とあそぶ・詩をまなぶ：『ぼくらの谷川俊太郎』近江弥穂子(報告) p.24、「講座E 読書のバリアフリー：読書バリアフリー はじめの一步」水井文香(報告) p.25、「読書会a 絵本：『寓話に生きた人 イソップ：その人生と13の物語』小川範子(報告) p.26、「夜のつどい12：沖縄の平和を語る」玉城乃野(報告) p.33、「夜のつどい14：多様性を語る」森永香代(報告) p.35)、<わたしのよむ>「おもしろさの原点」『みらいってなんだろう』『かこさとし童話集』①～⑩ かこさとし作・絵 細川和子 pp.40-41、「この本をとどけたい：読み継ぎたい本の魅力 いつも静かにそばにいてくれるエッツの絵本」『もりのなか』マリー・ホール・エッツ文・絵 まさきるりに訳 椿則子 p.44
	673号(2024.11)	「絵本創りのよるこび」市川里美 p.1、特集<第56回 日本子どもの本研究会 全国大会報告 (2)未来をひらく子どもと本：子どもの今を見つめ、ともに生きる明日を考える> (<記念講演 田島征彦氏「ぼくの絵本づくり」を聞いて> (「田島征彦先生の絵本作りから感じたこと」福田はるか pp.19-20、「僕らの物語」の力 福富範子 p.20)、「分科会1 絵本・乳幼児と絵本：出会ってほしい絵本：2023年出版から」杉山喜美恵(報告) pp.21-22、「分科会4 特別支援と読書：安心できる場で、心が動く豊かな体験を」大河原妙子(報告) pp.26-27、「分科会8 地域と読書」田名洋子(報告) pp.33-34)
	674号(2024.12)	特集<いっしょに楽しむ、さわる絵本> (「新しいわかり方をぼうけんしよう！」スギヤマカナヨ pp.17-19、「触ることの意味：『くろはおうさま』の日本語版を編集して」細江幸世 pp.20-22、「さわってつくて 点字であそぼう！」：世田谷区での実践報告」吉田由克子 pp.22-24、「りんごの棚と読書バリアフリー：誰もが読書を楽しむインクルーシブな社会へ」古市理代 pp.25-27)、<My Message 子どもの本のつくり手から>「子どもの本の意義」蓮岡修 pp.28-29、<この本をとどけたい：読み継ぎたい本の魅力>「心に響く本と出会うように」『はじめてのかり』オノン・ウルグング／唐亜明作 ムンフジン・チュールテミン絵 田崎晴泉 p.33
	663～666、668～673号 (2024.1～4、6～11)	連載<今月の書評> 663号：「命のリレーは続く」『海にしずんだクジラ』長谷川千穂／668号：「全盲のババは誰よりもたくさんの物を見て、誰も見ないものまで見ている」『ババはたいちょうさん わたしはガイドさん』本田まゆみ／669号：「わけあうことで育つ心」『わたしたちのケーキのわけかた』高木清美／670号：「虫の体の不思議」[虫のからだ：『はね』『くち』『しょっかく』『あし』『め』]高柳洋子／672号：「この世界のなにもかもを作る」『世界のもと』を見てみよう！』『石は元素の案内人』(たくさんのふしぎ傑作集) 吉田靖子 各回2p
663～674号 (2024.1～12)	連載<複眼書評> 666号：『人形からとどいた手紙：ベルリンのカフカ』「さあ、足元だけを見ていないで、広い世界へ冒険の旅に出かけよう。」岩辺泰吏、「カフカの逸話が生んだ「おはなし」」平井むつみ／673号：『シググのおうちはどこ？』『子どもの最善の利益』を考える 中西由香里、「ネグレクトの親子に寄り添う社会」根岸栄子 各回3p	
『ざわざわ：こども文学の実験』 四季の森社	9号(2024.10)	「内田鱗太郎インタビュー<アニミズムとはなにか>～なぜ、アニミズムのほうへ行けと心がうずくのか」中川理恵子(聞き手)・宮崎詞美(記録) pp.294-329
『児童文芸』 日本児童文芸家協会	69巻4号 (2023-2024. 冬号)	連載<著作権よもやま話>(7)「挿絵と原作(後編)」藤岡希美 pp.114-115
	70巻1号 (2024.春号)	特集 I <絵本テキストを極めよう> (<レポート>「絵本テキストグランプリ特別講座」 pp.18-25)

『ちひろ美術館・東京 美術館だより』 ちひろ美術館・東京	No.220 (2024.2)	「展示紹介:いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ あれ これ いのち(企画協力:鷺谷いづみ)」松方路子 pp.2-3、「展示紹介:いわさきちひろ ぼつご50年こどものみなさまへ(展覧会ディレクター:近森基+小原藍(plaplax))」上島史子 p.4、「活動報告:対談村上康成×はたこうしろうーいま、絵本でつたえたいことー:「ちひろ美術館セレクション2010→2021日本の絵本展」関連イベント」p.5、「活動報告:「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム事業 2023年度の活動報告」p.6、「ひとことふたことみこと」・「美術館日記」・「新収蔵作品紹介⑦」山田実穂 p.7
	No.221 (2024.5)	「展示紹介:いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ あ・そ・ぼ(企画協力:森口佑介)」高津つぐみ pp.2-3、「活動報告:「いわさきちひろ ぼつご50年 こどものみなさまへ あれこれ いのち」関連イベント:2024年4月21日(日)お話と対話の集い「絵でつなぐ自然の共生」」p.4、「ひとことふたことみこと」・「美術館日記」・「風」Vol.9 武石香 p.5
	No.222 (2024.9)	「展示紹介:いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ みんな なかまよ(企画協力塩瀬隆之)」原島恵 pp.2-3、「活動報告:「5/12(日)ワークショップ「虫たちの小さな公園づくりーみちくさと表現ー」:いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ あれ これ いのち」関連イベント・「6/24(月) plaplax+佐藤卓「いわさきちひろ ぼつご50ねん」あそびながら生まれなおす」」p.4、「ひとことふたことみこと」・「美術館日記」・「新収蔵作品紹介⑨」中平洋子 p.5
『図書館雑誌』 日本図書館協会	118巻2号 (2024.2)	特集<令和5年度(第109回)全国図書館大会岩手大会ハイライト>(「子どもと本のよい出会いを:第4分科会 児童サービス(1)」安保和徳 p.80、「読書が子どもに与える影響:第4分科会 児童サービス(2)」安保和徳 p.81)
『飛ぶ教室:児童文学の冒険』 光村図書出版	76号(2024.冬) (2024.1)	連載<BOOKS1 絵本>「あーつとな見立て」[『あーつとかたづけ』福音館書店] 及川賢治 p.47、連載<本屋さん探訪>(12)「丸善丸広百貨店飯能店」おくはらゆめ・福島亮子 pp.58-63
	77号(2024.春) (2024.4)	連載<BOOKS1 絵本>「かけがえのないもの」を描く」[『わたしは地下鉄です』岩崎書店] 松田素子 p.55
	78号(2024.夏) (2024.7)	連載<BOOKS1 絵本>「よる かわる わかるよ」[『よるよ』偕成社] 及川賢治 p.57
	79号(2024.秋) (2024.10)	連載<BOOKS1 絵本>「あたたかな科学」[『シロツメクサはともだち』ブロンズ新社] 松田素子 p.61、連載<本屋さん探訪>(13)「えほんやるすばんぱんするかいしゃ」きくちき 荒木健太 pp.74-79
『日本児童文学』 日本児童文学者協会	70巻2号 (2024.4)	<世界にひらく窓>「モンゴルの子どもの事情」[『モンゴル大草原800年』イチンノロブ・ガンバートル作 バーサンスレイン・ボルマー絵 津田紀子訳 津田紀子 p.68、「追悼西内ミナミ:西内ミナミさん何人分も働いて生き抜いた人」遠藤みえ子 p.69、連載<インタビュー 作家とLunch〜創作のひみつを探る〜>「8 石井睦美」聞き手西山利佳・編集部(奥山) pp.101-107
	70巻3号 (2024.6)	特集<子どもの文学この一年>(「子どもの文学2023をふりかえる〜読みものから詩歌まで〜」おおぎやなぎちか・加藤純子・菊永謙・野上暁・奥山恵(司会・編集部) pp.26-39、「絵本:希望と温もりを絵本から」堀地はるみ pp.56-59、「評論・研究:出会った本、出会えなかった本」横川寿美子 pp.60-63)
	70巻4号 (2024.8)	連載<創作時評> 葦原かも pp.80-85 ([『子どもべやのよる』出久根育文・絵]), 連載<インタビュー 作家とLunch〜創作のひみつを探る〜>「10 村中李枝」 pp.101-107
	70巻5号 (2024.10)	連載<インタビュー 作家とLunch〜創作のひみつを探る〜>「11 高樓方子」 pp.103-109
	70巻6号 (2024.12)	特集<深呼吸のときー環境危機と子どもの本>(「森がなくて生きていけない」岩瀬成子 pp.34-35、「環境危機を深呼吸しながら考えるブックガイド:絵本・絵童話」[『ぼくのじしんえにつき』・『よみがえれ、えりもの森』・『希望の牧場』・『アマゾン川 熱帯雨林・生命の源』など] p.62)、<創作時評 幼年〜中学年向け:「おじいさんとおばあさん」>(『となりのじいちゃんかんさつにつき』ななもりさちこ作 たまゑ絵・『あの日のあなた』中川なをみ作 大野八生絵・『リリの思い出せないものがたり』たかどのほうこ作 高橋和枝絵・『ようかいばあちゃんちのおおまがどき』最上一平作 種村有希子絵・『まほうのマーメイド』茂市久美子作 ゆうこ絵) 葦原かも pp.70-75
『Book & Bread』 日本国際児童図書評議会 (JBBY)	158号(2024.3)	「Book & Bread Interview 物語を読んだ人の心のときめきが伝わり、その物語もまた旅をする:角野栄子さんインタビュー」喜入今日子(聞き手)・田中明子(レポート) pp.4-9、「JBBY絵本部遠足『となりの国の絵本 躍動する韓国イラストレーションの世界』展へ」森岡由紀子(報告) p.14、「JBBY新・編集者講座第9期:「いま、子どもの本は何を伝えるか?」講師:ギーター・ウォルフ」堀内まゆみ(報告) pp.15-16、連載<今読みたい国際アンデルセン賞作家の本>(25)「Nahoko Uehashi 上橋菜穂子:2014年作家賞(日本)」長岡香織 p.18、連載<子どもの本で多文化理解>(50)「ドイツ 伝統と文化に育まれる子どもたちの読書習慣」中村智子 p.19

『Book & Bread』 日本国際児童図書評議会 (JBBY)	159号(2024.6)	「Book & Bread Interview : JBBY50周年・国際子ども本の日記念来日講演会 スージー・リー 絵本がつなぐ世界 境界を越える、絵本」 申明浩(通訳)・松岡由紀(まとめ) pp.4-9、カフェB&B 「こぶたは歩く、ゆっくりにゆっくりに」 小風さち p.17、連載<今読みたい国際アンデルセン賞作家の本> (26)「Jacqueline Woodson ジャクリン・ウッドソン : 2020年作家賞(アメリカ)」 さくまゆみこ p.18、連載<子どもの本で多文化理解> (51)「イスラエル」木かげの時間 : イスラエル絵本展」 展示棚からの紹介」 波多野苗子 p.19
	160号(2024.9)	「Book & Bread Interview 人間の善と悪を書き続けたい 子どもたちへ届けたい祈りとは 作家 安東みきえさんインタビュー」 松岡智美・荒井橙子(レポート) pp.4-9、「日本国際児童図書評議会 (JBBY) 第54回定時総会・親睦会報告」 植村志保理(報告) p.10、「JBBY50周年記念連続講座 日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち : (1)「時代の寵児 安野光雅の世界」」 高宮光江(報告) p.12、「JBBY50周年記念連続講座 日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち : (2)「まどさん、まどしてる」」 岸井美恵子(報告) p.13、「2024イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」 きのとりこ(報告) p.14、カフェB&B「絵本論 : 嘘とユートピアに向き合う」 宮崎詞美 p.17、連載<今読みたい国際アンデルセン賞作家の本> (27)「Marie-Aude Murail マリー=オード・ミュライユ : 2022年作家賞(フランス)」 p.18、連載<子どもの本で多文化理解> (52)「スペイン マイノリティへの優しいまなざし : バリアフリー図書を中心に」 村岡直子 p.19
『マグちゃん通信』 射水市大島絵本館	隔月刊 84~89号 (2024.2~12)	連載<絵本作家インタビュー>84号 : 松田奈那子 / 85号 : まつおりかこ / 86号 : 植垣歩子 / 87号 : コヨセ・ジュンジ / 88号 : おおでゆかこ / 89号 : おくはらゆめ 各回pp.1-2
		連載<エッセイ「絵本と私」>84号 : 「大人も日々前進」 室井滋 / 85号 : 「お寺でも絵本を」 岡田達信 / 86号 : 「受け継がれる読み聞かせ」 丹保京子 / 87号 : 「遊びと手づくり絵本」 モニカ / 88号 : 「絵本への「こだわり」にご注意 ! : 最上の絵本時間のために ! 」 百名朝彦 / 89号 : 「絵本のぬくもり」 朔島こと葉 各回p.3
『むすびめ2000: 図書館と多様な文化・言語的背景をもつ人々をむすぶ 人・言葉・生活・本・情報の通信』 むすびめの会	125号(2024.3)	<むすびめ例会(2023.12.3)> pp.4-8(「リーパーすみ子さん講演会参加記」 渥美佳世子 pp.4-5)、<楽しく読むゾウと行く世界絵本旅行 ! ! > pp.30-31、「公立図書館の / で、多言語・多文化サービスを考える」 和田綾子 pp.30-31
	126号(2024.6)	<むすびめ例会(2024.12)> pp.5-10(「むすびめ講演会「中国語圏の絵本を一緒に読みましょう—中国56民族民話絵本を中心に—」報告」 陳玉容 pp.5-6、「むすびめ講演会に参加して」 臺はるか p.7、「北区中央図書館と『中国56民族民話絵本』」 尾関和子・松元宙子 pp.8-9、「むすびめ講演会「中国語圏の絵本をいっしょに読みましょう—中国56民族民話絵本を中心に—」に参加して」 宮島史江 p.10、「中国の出版事情 : 2024年中国の絵本は平和のパロメーター」 島崎英威 pp.11-13、<こむすびのページ> 『ラマダーン』【ファータマ・シャラフェッディーン文 エストレリータ・カラコル絵 片桐早織訳】 片桐早織 p.24
	127号(2024.9)	<こむすびのページ>「スキャンの技術を使って復刊させた『えほんで楽しむ英語の世界』」【リーパーすみ子著】 リーパーすみ子 p.32

● 育児・保育・教育・児童文化誌(絵本関連の特集・連載・記事を記載)

誌名・発行(出版社)	巻号(年月号or発行年月)	記事名・著者・掲載頁(or 頁数)
『演劇と教育』 晩成書房	740号 (2024.7・8)	特集<心に響く語り>の魅力> (「紙芝居を演じるということ」 本多ちかこ pp.14-17、「<ろう学校> 手話表現がはずむ絵本の読み聞かせ」 吉本努 pp.18-22)、<スポットライト> 「『きつね森の山男』 : 人形劇団クラルテ+真山隼人+沢村さくら : 絵本+人形劇+浪曲=バッチリ ! 」 pp.28-29
『家教連家庭科研究』 家庭科教育研究者連盟	379号(2024.4)	<中学校実践>「フェルトの絵本製作」 大島久美子 pp.30-35
	382号(2024.10)	<実践>「iPadを活用した絵本のポップづくりの効果 : 育てられた側から育てる側の視線へ : 高校実践」 清水雄太 pp.34-39
『季刊 保育問題研究』 新読書社	326号(2024.4)	特集<第63回全国保育問題研究集会 提案特集> (「分科会案内6 認識と表現 : 文学」 山崎由紀子 pp.23-24、<提案2 集団づくり> (「“やりたい”がなかまに広がる、合言葉は「それいいね」」 山本凌平 pp.91-94、「クラスの仲間がいてこそ自分の居場所」 相澤利佳 pp.95-98、「みんなできつりあげた発表会」 田中里歩 pp.103-106)、<提案3 あそび> (「絵本の世界とあそびがつながるとき」 豊島瑞姫 pp.111-114、「あそびを通して仲間と共に育ちあう」 松本みなみ pp.114-118、「生きる力がぐんぐん広がる」 松田さえ pp.126-129、「クレヨンの世界を楽しんで」 藤川七海 pp.130-133)、<提案6 認識と表現 : 文学> (「劇遊びを通して育った子どもたちの力」 北浦裕子 pp.175-178、「『かいじゅうたけいびん』から始まった子どもたちの作戦会議」 中路里紗 pp.179-182、「ものがたりでひとつになる」 山並啓 pp.183-186、「身ぶり表現で自分の思いを伝える子どもたち」 有馬美和 pp.187-190)、<提案7 認識と表現 : 美術> (「真似されるって嬉しい ! : 友達と響き合い広がる表現」 坂本将取 pp.191-194、「おもしろさに一直線 ! : 安心感の中で育まれるなかまの輪」 岡井千恵 pp.203-206))

『季刊 保育問題研究』 新読書社	328号(2024.8)	『『季刊 保育問題研究』発刊60周年記念企画『季刊保育問題研究』五六号 一九七六年八月発行より『かわいそうなぞう』を通しての幼児の平和教育』松原多恵子 pp.80-103
	329号(2024.10)	特集<第63回全国保育問題研究集会 北海道集会報告> (「分科会報告 集団づくり」大元千種・中島常安・脇信明 pp.48-59、「分科会報告 あそび」塩崎美穂・田中浩司・古林ゆり・木都老克彦 pp.60-70、「分科会報告 認識と表現:文学」徳永満理 pp.81-85、「分科会報告 認識と表現:美術」田中義和 pp.86-90)
	330号(2024.12)	特集<子どもから「へいわってなに？」と問われたら> (「死生学とともに考える平和教育」木村敦子 pp.21-26、「乳幼児期の「へいわ」の学び方:平和教育の成果と課題から考える」竹内久頭 pp.27-34、「今を生きる大人として、子どもたちに平和を伝えるには」前原祐子 pp.35-40)
『教育と医学』 慶応義塾大学出版会	820~825号 (2024.1~12)	連載<バリアフリー絵本の世界> 820号:(28)『手作りさわる絵本 ぞうくんのさんぽ』/821号:(29)『ゆうこさんのルーベ』/822号:(30)『ごきげんのわるいコックさん』/823号:(31)『アスベルガーの心 わたしもパズルのひとかげら』/824号:(32)『むし』/825号:(33)『王子さまの耳は口バの耳』 攪上久子監修 各回1p
『教育美術』 教育美術振興会	989号(2024.11)	特集<絵本からひろがる世界> (インタビュー「絵本作家 ヨシタケシンスケ氏」 pp.10-19、「子どもの育ちを支える絵本と総合的な指導における造形表現—絵本からひろがる幼児教育・保育の実践と小学校とのつながり—」久保木健夫 pp.20-23、「絵本から発想した題材 ①Tシャツコレクション」北川智久 pp.24-25、「絵本から発想した題材 ②文字絵 ~よめるカナ~」田川健太 pp.26-27、「絵本から広がるBOOK ARTの世界へ」大島伸夫 pp.28-31、コラム「絵本専門士が教える「読み聞かせ」でひろがる絵本の可能性」大河原悠哉 pp.32-33、レポート「触れて鑑賞する展覧会から「ふれてみる絵本展」(イタリアのさわる絵本展示)について」武末裕子 pp.34-35、レポート「絵本でつながり、にぎわいが生まれるまちをめざして「絵本のまち板橋」の取組」板橋区ブランド戦略担当課 pp.36-37)
『クーヨン』 クレヨンハウス	29巻2号 (2024.2)	特集<睡眠で脳が育つ かぞくが育つ> (「おやすみ絵本」 pp.36-39)、「知っていますか?レイシャル・プロファイリングのこと:新刊『ママたちが言った』がおしえてくれる人権問題」 p.57
	29巻3号 (2024.3)	特集<レイシャル・プロファイリングを知っていますか?> (「新刊絵本『ママたちが言った』で考えるレイシャル・プロファイリング」 p.56)
	29巻11号 (2024.11)	特集<本好きな子ほど伸びる理由> (「本がある環境で本が大好きに」 pp.6-13、「絵本が生きる力の根っこを育てます」大竹みどり pp.14-19、「耳と目と手の育ちが読み、学ぶ土台に」高根澄子 pp.20-25、「本を読める子なら生きるのに困らない」松永暢史 pp.26-29、「あかちゃんと言みたい絵本」 pp.30-31、「子どもと言みたい絵本」 pp.32-33、「本屋に親子で出かけよう!」 pp.34-35)
	29巻1、3~12号 (2024.1、3~12)	連載<子どもの本の学校> 29巻1号:「飯野和好」/29巻3号:「たなかひかる」/29巻4号:「きたむらさとし」/29巻5号:「アーサー・ビナード」/29巻6号:「カタリーナ・ヴァルクス」/29巻7号:「どいかや」/29巻8号:「矢部太郎・やべみつのり」/29巻9号:「長谷川義史・ペクヒナ」/29巻10号:「柴田ケイコ」/29巻11号:「いとうひろし」/29巻12号:「ケロポンズ(増田裕子・平田明子)」各回1p
	29巻4~12号 (2024.4~12)	連載<子どもにひとこと伝えたい!> 29巻4号:(1)「柴田ケイコ」/29巻5号:(2)「浦中こういち」/29巻6号:(3)「DJみそしるとMCごはん」/29巻7号:(4)「安井素子」/29巻8号:(5)「回里純子」/29巻9号:(6)「金井真紀」/29巻10号:(7)「星野由香」/29巻11号:(8)「恐竜くん」/29巻12号:(9)「木野内美里」各回pp.2-3
	29巻4~12号 (2024.4~12)	連載<わたしのオンリーワン> 29巻4号:「きたむらさとし」/29巻5号:「アーサー・ビナード」/29巻6号:「カタリーナ・ヴァルクス」/29巻7号:「どいかや」/29巻8号:「矢部太郎・やべみつのり」/29巻9号:「長谷川義史・ペクヒナ」/29巻10号:「柴田ケイコ」/29巻11号:「いとうひろし」/29巻12号:「増田裕子・平田明子」各回1p
『月刊学校教育相談』 ほんの森出版	38巻3号 (2024.2)	特集<絵本で子どもの心を育てよう> (「物語への「期待感」から、読解と読書を結びつける」曾根朋之 pp.10-12、「子どもの思いや思考を膨らませる絵本の活用」坂口洋美 pp.13-15、「絵本を介したかわりで心を交わし、支え合う」増田梨花 pp.16-19、「絵本という心を育む“小さな種”」加納彰子 pp.20-25)
『げん・き』 エイデル研究所	206号(2024.11)	特集<保育現場にエシカルな心を~子どもと社会を思いやる大人としてのあり方~> 『『あーんあーん』(せなけいこ作・絵)ほか』白木夏子・上杉千恵子 pp.2-16
	202~206号 (2024.3~11)	連載<保育と絵本:要領・指針にそって> 瀧薫 各回pp.2-5
	202~205号 (2024.3~9)	連載<多様性に触れる絵本ガイド> 202号:(9)「自立したお姫様」/203号:(10)「世界の国々の多様な暮らし」/204号:(11)「学ぶということ」/205号:(最終回)「子どもの人権を守る」草谷桂子 各回2p

『子育て支援と心理臨床』 福村出版	24号(2024.9)	連載<親子をつなぐ絵本>(24)『すうちゃんはね』[ほんだあきこ作 千葉智江絵] 瀬川未佳 pp.84-85
『kodomoe コドモエ』 白泉社	12巻1号 (2024.1)	特集<絵本とあそび！>(「パンどろぼうと遊ぼう！」 pp.12-19、「絵本作家さん、教えて！どんなおうち遊びしてますか？:tupera tuperaさん・小池壮太さん・えがしらみちこさん」 pp.20-25、「遊べる絵本」 pp.30-33、「絵本の国のおもちゃ屋さん」 pp.34-36)、「絵本カタログ part1」>「第16回MOE絵本屋さん大賞2023 部門賞 ファーストブック賞発表！」 pp.102-104、「書店員さんが選んだ今年のファーストブック ベスト20作品発表！」 pp.105-106、「第16回MOE絵本屋さん大賞2023 総合&新人賞ランキング」 p.107、「絵本カタログ part2」>「季節の絵本ノート」 pp.108-109、「絵本カタログ part3」>「書店員さんおすすめ新刊絵本」 p.110、「コードモエ絵本作家インタビュー」>「注目の作家・キッチンミノルさん」 p.111
	12巻2号 (2024.3)	特集<子どもが育つ「台所」>(「キッチンの絵本」 pp.46-49)、「絵本カタログ part1」>「季節の絵本ノート」 pp.106-107、「絵本カタログ part2」>「書店員さんおすすめ新刊絵本」 p.108、「コードモエ絵本作家インタビュー」>「注目の作家・やまとしんじさん」 pp.110-111
	12巻3号 (2024.5)	特集<意外と知らない新定番リスト100今この絵本がすごい！>(「ヨシタケシンスケ×柴田ケイコがすごい！」 pp.12-17、「鈴木のリたけワールドに夢中！」 pp.18-19、「今、読むべき絵本はコレ！」 pp.20-25、「おむすびひろばの読み聞かせ「テッパンリスト」」 pp.26-29、「しかけ絵本の世界によこそ>(「part.1 しかけ絵本を作る人:ひらぎみつえ×坂啓典」 pp.30-32、「part.2 しかけ絵本を作る場所:大村製本の工場見学」大森裕子(イラスト) pp.33-35、「part.3 しかけ絵本ブックリスト」 pp.36-39)、「絵本カタログ part1」>「季節の絵本ノート」 pp.108-109、「絵本カタログ part2」>「書店員さんおすすめ新刊絵本」 p.110、「コードモエ絵本作家インタビュー」>「ナカオマサトシさん・うよ高山さん」 p.111
	12巻4号 (2024.7)	特集<100円自由研究>(「なぜなに？」を育てる絵本」 pp.38-42)、「バムとケロ30周年」 pp.102-105、「絵本カタログ part1」>「季節の絵本ノート」 pp.106-107、「絵本カタログ part2」>「書店員さんおすすめ新刊絵本」 p.108、「コードモエ絵本作家インタビュー」>「MICA0さん」 p.109
	12巻5号 (2024.9)	<絵本カタログ part1>「絵本の中の名言」 pp.100-103、「絵本カタログ part2」>「季節の絵本ノート」 pp.104-105、「絵本カタログ part3」>「書店員さんおすすめ新刊絵本」 p.106、「コードモエ絵本作家インタビュー」>「注目の作家・牛窪良太さん」 p.107
	12巻6号 (2024.11)	特集<絵本ギフト>(「風間俊介さんの贈りたい絵本」 pp.10-11、「子どもに届けたい、絵本ギフト」 pp.12-17、「イモトアヤコさんの贈りたい絵本」 pp.18-19、「お菓子と絵本を贈ろう」 pp.20-23、「ごちそう絵本ガイド」 pp.24-29)、「絵本カタログ part1」>「季節の絵本ノート」 pp.104-105、「絵本カタログ part2」>「書店員さんおすすめ新刊絵本」 p.106、「コードモエ絵本作家インタビュー」>「はらぺこめがね」 p.107
『こどもの栄養』 児童育成協会	817~828号 (2024.1~12)	連載<絵本で食育>817号:『はってんじん』篠原紀子/818号:『おにぎりおにぎり』大長咲子/819号:『うんめえめし』たさききょうこ/820号:『14ひきのあさごはん』中村利奈/821号:『ここからおいしいよかんがするよ』栗本優香/822号:『おべんとうばこさんです。』大長咲子/823号:『おんぶは こりごり』篠原紀子/824号:『ぎょうれつのできる アイスcream かきごおりやさん』たさききょうこ/825号:『やきざかなののろい』根本裕子/826号:『しぶがき ほしがき あまいかき』中村利奈/827号:『おおいなる だいずいちぞく』今泉恵子/828号:『かまくらレストラン』清水智恵子 各回2p
『子どもの文化』 文民教育協会子どもの文化研究所	56巻1号 (2024.1)	<子どもの文化ホットライブホットジャーナル>「紙芝居『原爆の子 さだ子の願い』を高校のカリキュラムに導入:第8回右手賞受賞」加藤賢一 pp.30-35
	56巻3号 (2024.3)	<子どもの文化ホットライブホットジャーナル>(「第69回子どもを守る文化会議に参加して:子どもを守る文化会議70周年 NO WAR! 21世紀を子どもの世紀に! 平和の世紀に」大須賀裕子 pp.38-39、「伝統を受け継ぎ創作をとり入れた紙芝居作家養成ゼミ」宮崎二美枝 荒木文子 pp.40-44、「国策紙芝居展~戦争へいざなう言葉と物語~:川崎平和館」大須賀裕子 pp.46-47)、「紙芝居修理講習会:古き良き紙芝居を修理して演じよう!! 講師眞野節雄氏(東京都立中央図書館資料保全室)」江森隆子 p.45
	56巻4号 (2024.4)	<書評>『生きるための絵本』正置友子著 風間書房:芳醇な味わいと香りの絵本127冊をめぐって」石井光恵 pp.32-33、「子どもの文化ホットライブホットジャーナル」>「見て楽し 遊んで楽し 江戸のおもちゃ絵 (Part2) 展」大須賀裕子 pp.36-39、「紙芝居のあしたを拓く」(「第23回手づくり紙芝居コンクール報告」片岡直子 pp.40-44、「原爆も千羽鶴もしていたのに一紙芝居をつかった公開授業」鈴木まどか pp.45-48)、「追悼和歌山静子先生(画家)」鈴木孝子 p.49
	56巻5号 (2024.5)	<書評>『高橋五山の総合的研究—デザイン・絵雑誌・紙芝居—』高橋洋子 風間書房(2024) 浅岡康央 pp.32-35、「紙芝居のあしたを拓く」>「戦時下紙芝居と現代人形劇の交差点—戦時下の転換点・1941年翼賛文化運動の糸口を探る 戦時下紙芝居と現代人形劇の動き—:神奈川大学非文字資料研究センター—2023年度第2回研究会」高瀬あけみ pp.42-45

『子どもの文化』 文民教育協会子どもの文化研 究所	56巻6号 (2024.6)	<2023年度五山賞・右手賞決定> (「第62回五山賞第62回特別賞「みつこの詩」吉永理巴子・奥羽香織脚本、上月ひとみ絵」、「第62回五山賞奨励賞「こたろうとりゅう」津田真一脚本、ザ・キャビンカンパニー絵」、「第9回右手賞団体賞山子ども文化研究会」 pp.36-29)、<紙芝居のあしたを拓く> (「世界が見た、街頭紙芝居展—なにわ人形芝居フェスティバル:たった一日だけの人形劇の図書館コレクション展」 湯見英明 pp.46-49、「パチパチ工房は、三年間で八作品を出版—紙芝居実演家・語り手たちによって全国に広がった! —」 宮崎二美枝 pp.50-51)
	56巻7号 (2024.7)	<子どもの文化ホットライブホットジャーナル>「子どもの本の夜明け帝国図書館展」大須賀裕子 pp.42-43、<紙芝居のあしたを拓く>「もろはしせいこう「超大型おんがく紙芝居」の世界:新たな地平を開いた 総合芸術としての紙芝居」塚原成幸 pp.46-51
	56巻8号 (2024.8)	<紙芝居のあしたを拓く> (「お寺であつちこち紙芝居—子どもと学ぶプログラム」土井晶子 pp.48-49、「加藤武郎さん(紙芝居実演家)の紙芝居四方山話」おかのけいこ pp.50-51)
	56巻9号 (2024.9)	<紙芝居のあしたを拓く> (「ようこそ! 世界の紙芝居の森へ~We love KAMISHIBAI!」を終えて」大塚珠代 pp.42-45、「さあ みんな、紙しばいの時間だよ! —小樽文学館で開催・昭和の紙芝居展—」 亀井志乃 pp.46-49)、「2023年度五山賞・右手賞贈呈式を終えて」 pp.50-52
	56巻10号 (2024.10)	<子どもの文化ホットライブホットジャーナル>「没後10年古田足日のぼうけん 神奈川近代文学館開館40周年」大須賀裕子 pp.34-37、「オバケ?」展 鈴木まどか p.43、<紙芝居のあしたを拓く>「紙芝居『あんずの花につつまれて』完成記念講演~体が不自由な子どもたちの学童疎開~」大須賀裕子 pp.48-51
	56巻11号 (2024.11)	特集<絵本をとりまく環境> (特集1「絵本をとりまく環境と絵本のカ—絵本に描かれる社会的テーマ」松本猛 pp.2-9、特集2「絵本専門士及び認定絵本土の現状と地域における役割」小室美香 pp.10-15、特集3「絵本でうっかり世界平和」~大人が絵本を読むということ」岡田達信 pp.16-21、特集4「絵本の広がり保育における絵本」佐々木由美子 pp.22-26)、「ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展「童堂賛歌」を訪ねる」大須賀裕子 pp.27-33、<紙芝居のあしたを拓く>「私の人生を変えてくれた紙芝居」と広島の高校生は語る—広島平和紙芝居の集いに参加して—」おかのけいこ pp.48-51
『シャンティ』 シャンティ国際ボランティア会	319号(2024.6)	特集<絵本を届ける運動25周年> (「はじまり」 pp.4-5、「翻訳絵本が活動地に届くまで」 pp.6-11、「学びが生まれ、続く仕組みづくり」 pp.12-13、「活動への理解を深める」 pp.14-15)、<世界の絵本を読んでみよう> (41)『魚の群れ』[ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ シャンティ出版絵本・図書] pp.16-17、<絵本を届ける運動:絵本に込められた想い>『おつきさまひとつずつ』[長野ヒデ子作 童心社] 中山佳織 p.29
	320号(2024.11)	特集<ミャンマーでの10年> (「絵本・紙芝居出版」 pp.12-13)、<世界の絵本を読んでみよう> (42)『平和を好む鳥』[ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ シャンティ出版絵本・図書] pp.16-17、<絵本を届ける運動:絵本に込められた想い>『ねずみくんおおきくになったらなにになる?』[なかえよしを作 上野紀子絵 ポプラ社] 小堺加奈子 p.29
『小児看護』 へるす出版	47巻1~4号、 6~12号 (2024.1~4、 6~12)	連載<看護系絵本堂>47巻1号:(133)「げんきになったよ こりすのリッキ」/47巻2号:(134)「ぼくにもできるよ」/47巻3号:(135)「かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった」/47巻4号:(136)「みんなとおなじくできないよ;障がいのあるおとうととボクのはなし」/47巻6号:(137)「まいにち からだは あたらしい!」/47巻7号:(138)「133cmの景色」/47巻8号:(139)「モーリーのすてきなおいしやさんバッグ」/47巻9号:(140)「ぼくと目の見えない内田さんがであったはなし」/47巻10号:(141)「むれ」/47巻11号:(142)「絵本 はたらく細胞;ばい菌VS. 白血球たちの大血戦!」/47巻12号:(143)「知ってほしいな わたしのびょうき;2型コラーゲン異常症」谷口あけみ 各回1p
『新幼児と保育:0歳児からの 総合保育誌』 小学館	14巻1号 (2024.3) 増刊『0・1・2歳 児の保育2024 春』	<こだま本棚>「わらべうた遊び」 児玉ひろ美 pp.18-19
	14巻2号 (2024.5) 増刊『0・1・2歳 児の保育2024 夏』	<こだま本棚>「夜を楽しむ」 児玉ひろ美 pp.18-19
	14巻4号 (2024.9) 増刊『0・1・2歳 児の保育2024 秋』	<読書の秋スペシャル 宮里暁美先生×児玉ひろ美さん対談> pp.20-23

『新幼児と保育：0歳児からの総合保育誌』 小学館	14巻6号 (2024.12) 増刊『0・1・2歳児の保育2024冬』	<こだま本棚>「音と言葉を楽しむ」児玉ひろ美 pp.26-27
	14巻1、2、4、6号 (2024.3、5、9、12)	連載<こだま文庫>14巻1号：(44)「だるまさん」/14巻2号：(45)「目を凝らして」/14巻4号：(46)「おはなしを楽しむ」/14巻6号：(47)「音を言葉で」児玉ひろ美 各回2p
『Sexuality』 エイデル研究所	116号(2024.4)	特集<はじめませんか？からだの権利教育：わたしのからだはわたしそのもの> pp.4-133 (「絵本紹介：「からだの権利」を学ぶための絵本」星野恵 pp.74-79)
	118号(2024.10)	特集<男子ってなんでそうなの？ どうしたらいいの？> pp.4-123 (<コラム>「これから生きる男の子と一緒に読みたい絵本」八尋 pp.120-123)
『ちいさいなかま：保育者と父母を結ぶ雑誌』 ちいさいなかま社	747～751号 (2024.1～3)	連載<おとなとこどもの ゆったり 絵本タイム> 747号：(10)『どんだんぼしわたれ』廣瀬美由紀 / 750号：(11)『ぼくもおにいちゃんになりたいな』牛尾佐和 / 751号：(12)『すてきな三にんぐみ』藤田淳志 各回2p
	752～760号 (2024.4～12)	連載<園でうちでゆったり絵本タイム> 752号：(1)『どうぶつたいじゅうそくてい』岸野千花 / 753号：(2)『おたまじゃくしの101ちゃん』三輪耕平 / 754号：(3)『はじめての梅しごと』小林奈々 / 755号：(4)『くつついた』清水杏実 / 756号：(5)『どんなきもち？』岸野千花 / 757号：(6)『なでなでももんちゃん』佐藤那々 / 758号：(7)『スモウマン』三輪耕平 / 759号：(8)『きょうはハロウィン』小林奈々 / 760号：(9)『てぶくろ』三輪耕平 各回2p
	747～758号 (2024.1～10)	連載<BOOK！> 747号：『ママとマハ パレスチナで生きるふたり』[高橋美香文・写真]・『こどもってね……』[アレマニャ・ベアトリー・チェ作 みやがわえりこ訳] / 751号：『ぼくはひとり』[フン・グエン・クアン / フィン・キム・ソエン作・絵 はっとりこまこ訳]・『いつかきつ』[アマンダ・ゴーマン文 クリスチャン・ロビンソン絵 さくまゆみこ訳] / 752号：『ともだちのなまえ』[内田麟太郎作 はしもとみお彫刻・絵] / 753号：『いちばんだいじなもの』[アントネッラ・アッパティエッロ作・絵 平田真理訳] / 754号：『パッチワーク』[マット・デ・ラ・ペーニャ文 コリーナル・ケン絵 さくまゆみこ訳] / 755号：『どうぶつえん』[スージー・リー作 姜汝政・松岡礼子訳] / 756号：『わたしはきめた 日本の憲法 最初の話』[白井明大詩訳 阿部海太絵]・『コケのきょうだい』[根誌優文 種籽設計絵] / 758号：『ねえ、おぼえて？』[シドニー・スミス作 原田勝訳] 各回1p
『チャイルドヘルス』 診断と治療社	304～315号 (2024.1～12)	連載<読書で育む共感力と探究心> 304号：(1)「子どもの心に絵本で寄り添う～感情・気持ちに関する本～」 / 305号：(2)「探究学習① 私たちはだれなのか～所属するコミュニティや友だち・人体に関する本～」 / 306号：(3)「本と本のある空間を大切に～図書室利用のルール、子どもたちや保護者有志の図書室における活動～」 / 307号：(4)「探究学習② 私たちはどのような場所と時代にいるのか：自分と社会と関連づけて、地理や歴史に親しむ本」 / 308号：(5)「関西国際学園の日英バイリンガル教育～原作と翻訳本をセットで配架する工夫、両言語で学ぶよさとは～」 / 309号：(6)「探究学習③ 私たちはどのように自分を表現するのか～コミュニケーションを図るための方法、文化的伝統やメディアに関する本～」 / 310号：(7)「本に親しむ「作家」として作品を書く～ビブリオバトル、カードゲーム、日本語科「作家の時間」、英語科「希望者のブッククラブ～」 / 311号：(8)「探究学習④ 世界はどのようなしくみになっているのか～ライフサイクルや物質の変化、宇宙に関する科学・技術の本～」 / 312号：(9)「関西国際学園初等部 Library Newsletter 「司書の本棚」より①～関西圏で開催された、絵本や美術に関する展示会の紹介～」 / 313号：(10)「探究学習⑤ 私たちは自分たちをどのように組織しているのか～さまざまな仕事や公共サービス、生産と消費・物流に関する本～」 / 314号：(11)「関西国際学園初等部 Library Newsletter 「司書の本棚」より②～関西の図書館巡り 大阪・神戸・西宮・京都～」 / 315号：(12)「探究学習⑥ この地球を共有するということ～自然資源、人権や世界平和に関する本～」 熱田幸子 各回4～6p
	312号(2024.9)	特集<LGBTQ+の子どもたち～多様な性を知ろう～> (「実践的な包括的性教育～未就学児に「性の多用途性」について話すには？」)[『ふたりママの家で』ハトリシア・ポラッコ作 中川亜紀子訳] 渡辺大輔 pp.46-49)
『発達』 ミネルヴァ書房	45巻177号 (2024.2)	特集<絵本とのあたらしい出会いかた> (「保育における子どもと絵本の出会い：出会いをつくり、発達を支える保育者の専門性」横山真貴子 pp.2-9、「乳児期からの絵本の読みあいの発達：絵本を身体で探索し読みあう共同活動へ」菅井洋子 pp.10-17、「人との関係をつなぐ絵本：乳幼児期から小学校にかけて」吉永安里 pp.18-25、「絵本のある教室：その空間で起きること」八瀬宗子 pp.26-32、「赤ちゃんとの絵本：助産師からみる出会いの場」岡いくよ pp.33-40、「子どもに世界の奥行きを開く絵本体験」矢野智司 pp.41-48、「デジタル環境の変化と子どもの読書」佐藤賢輔 pp.49-56、「絵本との出会いを支える技術：子どもの興味と発達にあわせて」小林哲生 pp.57-64、「知的障害のある人たちが生涯にわたり読書を楽しむために：絵本からLLブックへ」藤澤和子 pp.65-71、「アフリカの絵本に描かれる子ども：西アフリカのフランス語で書かれた絵本を読む」村田はるせ pp.72-79、「翻訳絵本と出会う現代の中国」劉娟 pp.80-87)

	848号(2024.1)	特集<笑っていきましょう> (「子どもと一緒に笑った本」 護得久えみ子 pp.24-27)
	850号(2024.3)	特集<なんで忘れちゃうんだろ?> (「安西水丸さんと旅の記憶」 p.22、「記憶に残る絵本と歌」 小野あつこ pp.23-26)
	851号(2024.4)	特集<子育てを“たのしむ”> (「加古里子さんが語る「遊び」の重要性」 p.27)
	852号(2024.5)	特集<絵本と出あう> (「絵本と出あうということ」 中村 稔子 pp.16-23、「ふいの出あいを届けたい」 三田 修平 pp.24-25、「俺が出あった絵本の話」 五味 太郎 pp.26-29、「絵本と出あう場所」 pp.30-33、「絵本を語るよろこび」 美村 里江 pp.34-35、「今、世界の絵本はどうなっている?」 松岡 希代子 pp.36-37)
	859号(2024.12)	特集<「母」のこれから> (「これからの“母”に贈る本」『よるくま』(酒井 駒子)・『海のアトリエ』(堀川 理万子)ほか) 寺島 さやか・岩切 もも・高橋 なつみ・宇田 智子・湯見 陽 pp.44-47)
『母の友』 福音館書店	848～850号 (2024.1～3)	連載<絵本作家対談> 848号:「多田多恵子×堀川理万子(後編):いざないとして」/849号:「阿部結×みやこしあきこ(前編):絵本のこと、たくさん話そう」/850号:「阿部結×みやこしあきこ(後編):だれにむけて描く?」 各回pp.52-55
	848～857号 (2024.1～10)	連載<えほんのきほん> 848号: (9)「昔話は馴染みのない生活の描写や単語が多く、子どもには難しいですか?」・「オススメの昔話絵本」/849号: (10)「対象年齢ではない絵本を読んでもいいですか?」・「2月にオススメの絵本」/850号: (11)「子どもに絵本を選ばせると、親から見て「それはちよつと」と思う本ばかり選んできます」・「3月にオススメの絵本」/851号: (12)「たくさん絵本がありすぎて、どれを選んだらいいのか分かりません」・「4月にオススメの絵本」/852号: (13)「科学絵本ってどんな絵本?」・「オススメの科学絵本」/853号: (14)「絵本の読み聞かせは何歳まで続けられればいいですか?」・「6月にオススメの絵本」/854号: (15)「子どもにどんな童話を薦めればいいですか?」・「おすすめの童話」/855号: (16)「食べ物の絵本のお薦めを教えてください」・「オススメの食べ物絵本」/856号: (17)「絵本を詳しく紹介している本を教えてください」・「9月のオススメ絵本」・「絵本についての本」/857号: (18)「絵本とどう付き合えばいい?」・「10月のオススメ絵本」 各回2p
	851～857、859号 (2024.4～10、12)	連載<絵本作家の元気のもと> 851号: (01)「下を向いて歩こう」 まるやまあやこ/852号: (02)「あえて「細道」をゆく」 北村 人/853号: (03)「絵のある人生」 麻生 知子/854号: (04)「お気に入りにもまれて」 飯野 まき/855号: (05)「自転車にのって」 岡本 雄司/856号: (06)「“懐メロ”を聞きながら」 丸山 素直/857号: (07)「景色のなかの景色」 杉田 比呂美/859号: (08)「近所の人とおしゃべり」 みやこしあきこ 各回2p
『ブックスタート・ニュースレター』 ブックスタート	83～85号 (2024.冬～ 2024.秋・2025. 冬) (2024.1～10)	83号: 特集<自分が変わる、地域が変わる ブックスタートを通じた「ひとつづくり」「まちづくり」> pp.1-3/84号: 特集<担当を引き継ぐということ～理念と必要性を伝える役割～> pp.1-3/85号: 第1特集<コロナ禍を経たブックスタート～富山県小矢部市・千葉県旭市の事例から～> pp.1-5、第2特集<多言語対応絵本 試験実施報告会～考えてみよう。外国人親子に「絵本」でできること～> pp.6-7
『文芸教育：子どもの認識力を育てる実践理論研究誌』 新読書社	132号(2024.11)	特集<さあ、学級びらき! 春に出会わせたい この教材> (「絵本の読み聞かせで あたたかい人間関係づくりを」 斎藤 千佳子 pp.28-37、「学年のはじめに出会わせたい詩や絵本(低学年)」 辻村 禎夫 pp.38-48)
『保育通信』 全国私立保育連盟	831号(2024.6)	「interview 絵本作家 服部美法さん 絵本が生まれるアトリエを訪ねて」 pp.6-12
『保育の友』 全国社会福祉協議会	72巻12号 (2024.10)	特集<ことばを豊かにする保育> (「事例2 絵本を通してことばの育ちを豊かに」 仲野 悦子 pp.24-26)
『望星』 東海教育研究所	657号(2024.2)	特集<絵本で心満ち足りる> (「『もいもい』はどのように生まれたのか」 開一 夫 pp.16-22、「絵本の楽しい時間を親子で共有しよう」 景山 聖子 pp.23-29、「世界で最初の絵本美術館「ちひろ美術館」」 入口 あゆみ pp.30-32、「絵本は子どものペースで楽しんで欲しい」 なかやみわ pp.33-40、「脳科学から見た絵本の読み聞かせ」 森慶 子 pp.41-46、「日本初の子どもの本専門店「メルヘンハウス」」 三輪 丈太郎 pp.47-50、「大人も絵本から学ぼう!」 東條 知美 pp.51-59、「子どものための古本屋「こども古本店」」 中島 ひであき pp.60-63、「開いてびっくりの「メグゲンドルフアー」」 嵐田 康平 pp.64-66)
『MIRAKUU』 エヴォルブド・インフォ	45～46号 (2024.冬～春号) (2024.1～4)	連載<絵本男子のおすすめ絵本> 45号: 米田 惠亮/46号: 岡田 直輝 各回1p
	47～48号 (2024.夏～秋号) (2024.7～10)	連載<MIRAKUUおすすめ絵本> 47号/48号 各回1p

『歴史地理教育』 歴史教育者協議会	973号(2024.8)	小特集<平和学習>(実践報告/高校日本史「絵本『さくら』で考える戦争の授業」長谷川真 pp.70-75)
----------------------	--------------	--

●イラストレーション・美術誌(絵本関連の特集・連載・記事を記載)

誌名・発行(出版社)	巻号(年月号or発行年月)	記事名・著者・掲載頁(or 頁数)
『アイデア』 誠文堂新光社	405号(2024.3)	特集<世界を覗くグラフィック―断面図・間取り図・分解図―見えないものを描く視点>(小特集<絵本は見えないものをどのように表現するか>佐々木美砂 pp.103-120、「寄稿Essay:内視の欲求 断層に寄せる断章」太田暁雄 pp.127-132)
『イラストレーション』 玄光社	241号(2024.3)	<Special Feature 1 いせひでこ>(寄稿「いせさんと絵本創り」高柳昇 pp.14-15、「インタビュー いせひでこ」pp.30-33)、<Special Feature 2 みやこしあきこ>(「装丁家の言葉」坂川朱音 pp.38-39、「インタビュー みやこしあきこ」pp.46-47)、<Special Feature 3 しおたにまみこ>(「編集者の言葉」梅田純子 p.51・沖本敦子 p.53、「インタビュー しおたにまみこ」pp.60-61)、<Special Feature 4 牧野千穂>(寄稿「牧野千穂さんの絵とその魅力」蜂飼耳 p.65、「インタビュー 牧野千穂」pp.80-81)、<Artist in The World>(14)「この秋、日本を訪れた絵本の作家と編集者の仕事」(「フレンチ・サンナ」(「鳥のように旅するサンナさん」細江幸世 p.83)、「シドニー・スミス」(「素晴らしい「夏のアトリエ」の日々」松岡希代子 p.85)、「アグラフカ」(「ウクライナから絵本を切り拓く2人」広松由希子 p.87)、「タラブックス」(「ギターの新たな絵本作り」松岡希代子 p.89))、<ブックスレビュー MARCH 2024 N° 241> pp.110-111 (『このほん』 [かげやまとおる作]・『ごちそうごよみ』 [谷山彩子作]・『すきなもののたのしいことA to Z '80~'90s 少女カルチャーブック』 [杉浦さやか著]・『ちいさなゾウ』 [庄野ナホコ作]・『かえましてん』 [べかたろう著]・『ゆうぐれ』 [平岡瞳作])
	242号(2024.6)	<ブックスレビュー JUNE 2024 N° 242> pp.110-111 (『ドクロ』 [ジョン・クラッセン著 柴田元幸訳]・『わたくし大画報』 [和田誠作]・『まよなかのかいじゅう』 [阿部結作+絵]・『ゆきのゆきちゃん』 [きくちちき作]・『ひとつぶのおくりもの』 [マーシー・キャンベル文 フレンチ・サンナ絵 なかがわちひろ訳])
	243号(2024.9)	特集<部屋と建物を描く>(「井田千秋」(「インタビュー 井田千秋」pp.21-23)、4「IC4DESIGN」(「インタビュー カミガキヒロフミ」p.63))、「ジョン・クラッセン新作『ドクロ』を語る」柴田元幸・宮古美千代 pp.92-95、<ブックスレビュー SEPTEMBER 2024 N° 243> pp.110-111 (『海の小娘<復刻版>』 [梶祐輔文 宇野亞喜良+横尾忠則イラストレーション]・『ようこそじごくへ』 [広松由希子文 100%ORANGE絵])
	244号(2024.12)	<ブックスレビュー DECEMBER 2024 N° 244> pp.110-111 (『MIZUMARU's』 [安西水丸事務所監修]・『森の歌がきこえる』 [田島征三作絵 ルートマニー インシエンマイオブジェ]・『山熊のえほん HIDE & SEEK まぼろしの雪豹をさがして』 [数駿昇作 東山彰良訳]・『うつくしいってなに?』 [最果タヒ作 荒井良二絵])
『美術の窓』 生活の友社	43巻3号(2024.3)	特集<知られざるペン画の世界:点と線の妙技>(「梶島勝一:知られざるペン画の神様」梶島良介・森園敦(対談) pp.60-71)
	43巻5号(2024.5)	<視点>「石川と脇田和」深山千尋 pp.149-150
	43巻7号(2024.7)	<PREVIEW>「北川民次展―メキシコから日本へ:生誕130年記念:メキシコに共鳴した画家、約30年ぶりの回顧展」勝田琴絵 p.161
	43巻12号(2024.12)	<視点>「夢二が友人・小林俊三(弁護士)へ贈った日本画」石川桂子 pp.195-196
『民藝』 日本民藝協会	862号(2024.10)	<展覧会この一点>(34)「柚木沙弥郎作『注文の多い料理店』絵葉書染絵原画」盛本直美 pp.1-2、特集<柚木沙弥郎と光原社の100年>(「座談会・柚木沙弥郎と光原社のこと」川島富三雄・土谷啓子・丸山祐子・仲村乃里子・杉山享司 pp.15-25、「光原社本店 柚木沙弥郎の仕事」pp.26-27、「『雨ニモマケズ』の明るさに込められたもの」松田素子 pp.28-32、「柚木沙弥郎と光原社の一〇〇年・関連年譜」pp.33-35、「コラム・柚木沙弥郎氏の思い出」宮沢和樹 pp.36-37、「岩手県立美術館「柚木沙弥郎 永遠のいま」展」pp.38-39、「柚木沙弥郎関連・新刊紹介」pp.40-41、「光原社本店・展示会のご案内:「柚木沙弥郎 旅の喜び、旅の色彩」」p.41、「Works of Samiro Yunoki」pp.42-43、「図版目録」p.44)

●文学・文芸誌(絵本関連の特集・連載・記事を記載)

誌名・発行(出版社)	巻号(年月号or発行年月)	記事名・著者・掲載頁(or 頁数)
『語りの世界』 語り手たちの会	77号(2024.8)	特集<平和を祈る語り> pp.4-51(「小さな絵本『ピカドン』秋山勝彦 pp.34-37)、<絵本の散歩道>「平和を祈る」[『小さな赤いてぶくろ』(西野綾子文 渡辺俊明絵)・『いのりの石〜ヒロシマ平和へのいのり』(こやま峰子文 塚本やすし絵)・『戦火のなかの子どもたち』(いわさきちひろ絵・文)・『ピースフル・プラネット〜なぜ戦争が起きるの?〜』(アンナ・クレイボーン作 絵 大山泉訳)・『国境なき医師団〜平和をもたらした人々』(光丘真理文 芳賀靖彦編集)] 三田村慶春 pp.76-77
『原爆文学研究』 花書院	22号(2024.2)	「宮本忠夫さんとの出会いと未完のヒロシマ絵本」村上美奈子 pp.205-209
『Coyote』 スイッチ・パブリッシング	82号(2024.3)	特集<安西水丸の教え> (「午後の芝生」村上春樹・安西水丸(絵) pp.8-46、「安西水丸の十カ条」信濃八太郎・山崎杉夫 pp.47-57、「一本の線が大地をそして空を描く」小高真紀子(文)・安西水丸(絵) pp.58-63、「見ること描くこと①映画を学ぶこと」 pp.66-73、「その映画術 視線の先: W座の安西水丸の世界: Invitationn from W Theater」構成信濃八太郎/Coyote pp.74-97、「見ること描くこと② 風景をどう描くか」 pp.98-99、「僕の色を探しに 館林スケッチ旅行: Sketch Trip TATEBAYASHI」山崎杉夫(絵と文) pp.100-103、「原風景をたどる ふるさと千倉は近くにありて描くもの: Sketch Trip CHIKURA」山崎杉夫(文)・ただ(写真) pp.108-119、「水丸先生の背中を見つめて 山崎杉夫・信濃八太郎対談: Dialogue」山崎杉夫・信濃八太郎(絵)・ただ(写真)・北澤宏明(構成) pp.120-135、「安西水丸の残した銅版: 山本容子に 版画の世界を訊く: One Day」荒井敏記(文と写真) pp.136-141)
『本の雑誌』 本の雑誌社	487~498号 (2024.1~12)	連載<南の話> 487号: (309)『『グッドナイト・ムーン』の怪(22) 献辞の謎』/488号: (310)『『グッドナイト・ムーン』の怪(23) 男性を名乗る』/489号: (311)『『グッドナイト・ムーン』の怪(24) だれも孤島ではない』/490号: (312)『『グッドナイト・ムーン』の怪(25) おやすみなさいの壁画』/491号: (313)『『グッドナイト・ムーン』の怪(26) おやすみ、ひとりきり』/492号: (314)『『グッドナイト・ムーン』の怪(27) おやすみ、ひとりきり(承前)』/493号: (315)『『グッドナイト・ムーン』の怪(28) 絵本のペーパーバック革命』/494号: (316)『『グッドナイト・ムーン』の怪(29) リトル・ゴールデン・ブックスという怪物』/495号: (317)『『グッドナイト・ムーン』の怪(30) GHQと白雪姫』/496号: (318)『『グッドナイト・ムーン』の怪(31) 白雪姫と何人もの作家たち』/497号: (319)『『グッドナイト・ムーン』の怪(32) ワンダちゃん、メルヘンを読んであげよう』/498号: (320)『『グッドナイト・ムーン』の怪(33) しあわせにくらしましたとき』 青山南 各回2p
『ユリイカ』 青土社	817号(2024.3)	総特集<92年目の谷川俊太郎> (「世界の谷川俊太郎・谷川俊太郎の世界」連東孝子 pp.16-21、「谷川俊太郎さんのあとに」藤井貞和 pp.22-25、「迎えに来ていただけますか……、谷川さん。」和合亮一 pp.26-30、「『二十億光年の孤独』孤独の旅の軌跡」ディエゴ・マルティナーナ pp.31-40、「詩人の中のアトム」田原 pp.41-50、「勉強すると、谷川俊太郎の言葉が変身する」小笠原鳥類 pp.51-58、「青空を見つめて死なない: 谷川俊太郎について」下西風澄 pp.59-68、「黙想する谷川さん」小室等 pp.69-72、「んばば んぽうん うん: 「いまここ」をめぐる旅」原田郁子 pp.73-77、「この気もちはなんだろう」柴田聡子 pp.78-82、「歌う谷川俊太郎、そのプロテスト」坪井秀人 pp.83-92、「校歌の宇宙」細馬宏通 pp.93-103、「扱いやすさの罫の前で」森山至貴 pp.104-113、「子どもの詩人・谷川俊太郎」周東美材 pp.114-124、「今更、谷川俊太郎: 谷川作品をめぐるシンポジウム」伊藤比呂美・尾崎真理子・高橋源一郎・マーサ・ナカムラ・四元康祐 pp.125-143、「「詩」を書くよりも」奥山紗英 pp.144-148、「谷川俊太郎に共振する: シンポジウム「今更、谷川俊太郎」学生パフォーマンス解題」廣瀬楽人 pp.149-157、「快樂主義者の詩学」大崎清夏 pp.158-162、「谷川俊太郎だけが詩人なのであって、他に詩人なんていないのかもしれない」岩倉文也 pp.163-167、「谷川俊太郎と日本語と私」佐藤文香 pp.168-172、「狂暴な無垢: 谷川俊太郎の詩を読む」鳥居万由実 pp.173-179、「谷川俊太郎とはなにか」佐藤雄一 pp.180-182、「谷川俊太郎の余白に」久谷雄 pp.183-189、「詩における時間性をめぐって: わたしの谷川俊太郎論」小野絵里華 pp.190-203、「小説による「朝のリレー」」福永信 pp.204-209、「谷川俊太郎の日本語」今野真二 pp.210-222、「グラドウス・アド・バルナツスム: 谷川俊太郎の詩のかたち」中村三春 pp.223-232、「リズムと調べ、あるいは音律」工藤貴響 pp.233-242、「谷川俊太郎の詩をどうやって読めばいいか」加藤邦彦 pp.243-251、「ボード」奥村門土 pp.252-253、「谷川俊太郎さんと出会い直す」矢萩多聞 pp.254-259、「谷川俊太郎 絵本★百貨展」に「百貨店」と「百貨典」ゆめのゆき pp.260-266、「しずかでにぎやかな絵本」寺村摩耶子 pp.267-276、「メディア装置と谷川俊太郎」和田敬 pp.277-285、「再論: 谷川俊太郎とテレビドラマ」瀬崎圭二 pp.286-294、「詩に詩を乗せる: 『ピーナッツ』と谷川俊太郎」三浦知志 pp.295-304、「宇宙はわらうか: 表情制作論としてのキャラクター、絵文字、詩」布施琳太郎 pp.305-313、「ゲゲゲの俊太郎: あるいは闇の谷川俊太郎の錬成」山田亮太 pp.314-320、「谷川俊太郎の愛国詩: ロスト・ジェネレーションの感動」田口麻奈 pp.321-333、「哲学・文学・ヒューマニズム: 谷川徹三についてのエッセイ」山口尚 pp.334-344、「戦後文学における「励まし」としての谷川俊太郎: 大江健三郎を参照項に」菊間晴子 pp.345-354、「擦れ違う世界認識: 谷川俊太郎と寺山修司」堀江秀史 pp.355-370、「とめどない実験」高山花子 pp.371-381、「定義とその周縁を解く」三瓶玲奈 pp.382-387、「ラジオアイ ポエムアイ カメラアイ」青柳菜摘 pp.388-394、「今日も書いている人」瀬尾夏美 pp.395-399、「宇宙と地球と私、そして: 谷川俊太郎の静かな絶望について」エリス俊子 pp.400-408、「言葉になっていない言葉へ: 意味を壊し生み出す」西村ユミ pp.409-416、「認識絵本の薔薇十字ポイエーシス: 谷川俊太郎讃」高山宏 pp.417-427、「抽象の亀裂に現れるリアル」郡司ペギオ幸夫 pp.428-442、「谷川本」をめぐる」カニエ・ナハ pp.443-461)

●総合誌・その他(絵本関連の特集・連載・記事を記載)

誌名・発行(出版社)	巻号(年月号or発行年月)	記事名・著者・掲載頁(or 頁数)
『印刷雑誌』 印刷学会出版部	107巻12号 (2024.12)	特集<絵本のいま昔>(「絵本の視覚表現とその文化的受容 1970年代を起点にして」山内榛子 pp.9-13、「AR絵本の制作と展開」森拓麻 pp.15-17、<印刷会社の匿名係>(84)「ハッピークリエイター」好きなことを手放さない」田淵健一 pp.18-19)
『エコノミスト』 毎日新聞出版	4824号 (2024.3.5)	「『どうぞのいす』『ちよつとだけ』子と親の心を突き動かす第16回柳田邦男絵本大賞」p.39
	4830号 (2024.4.30-5.7)	特集<絵本のチカラ>(「忘れてならない「3.11」を絵本で伝える、残す「催し」」北條一浩 pp.84-86、「戦争絵本:戦争孤児の役でデビューした私 今、親側に思いはせ絵本を読む」高部知子 p.87、「あさいち:能登の震災が記憶を呼び起こした「復刊」で「復興」を願う」p.88、「絵本「で」哲学:『哲学するゾウ フィレモンシワシワ』はるか大きな存在を考える」小川仁志 p.89)
『SC Japan today』 日本ショッピングセンター協会	565号 (2024.1・2)	特集<遊べる!学べる!体験型教育施設としてのSC>(「ケーススタディ⑤ 絵本の世界観をそのままに子どもの自由な発想を育てる「PLAY! PARK ERIC CARLE」」pp.55-57)
『Kaiun = 海運:総合物流情報誌』 日本海運集会所	1158号(2024.3)	特別企画<子供たちと海産産業をつなぐ 船・港の絵本>(「船・港の絵本紹介—編集部が選ぶ、この20冊—」pp.44-49、「インタビュー 絵本を通して船の役割を伝え幼児期の原体験として種をまく 千葉政俊氏」pp.50-53)
『看護管理』 医学書院	34巻1~2、4、6 ~11号 (2024.1~2、4、 6~11)	連載<おとなが読む絵本—ケアする人、ケアされる人のために>34巻1号:(207)「木々の言葉に耳を傾ける感性を」/34巻2号:(208)「黒光りするピアノから響いてくる「カノン」」/34巻4号:(209)「6歳の黒人少女が保安官に守られて入学!」/34巻6号:(210)「「いつかかならず」と未来を信じて」/34巻7号:(211)「心がつながるその美しいかたちの極致が」/34巻8号:(212)「都内でもアマガエルに出会えたら」/34巻9号:(213)「沖縄のはるか先島 魅惑されるヤマネコファンタジー」/34巻10号:(214)「ラオスの森から聞こえるうつくしい歌声」/34巻11号:(215)「読むうちに心が躍ってくる荒井良二絵本」柳田邦男 各回2p
『近代消防』 近代消防社	767号(2024.10)	<今さら聞けない資機材の使い方>(136)「長崎市消防局のオリジナル絵本「うちのアブナカ」を用いた予防救急の推進」川淵崇 pp.86-89
『Kumamoto:総合文化雑誌』 くまもと文化振興会	46号(2024.3)	特集<こどもの本>(「こども本の森 熊本」四月開館」熊本県教育委員会 pp.40-41、「こどもの本の森 熊本」でたくさんの本と出会ってほしい」熊本県知事浦島郁夫 pp.42-43、「私と絵本」葉山祥鼎 pp.44-47、「気がつけば四三年 子どもの本の店「竹とんぼ」」小宮楠緒 pp.48-51、「小山勝清と児童文学:『牛使いの少年』を中心に」上田精一 pp.52-55、「『星の王子様』の翻訳者・内藤濯:古希からの童心回帰という幸福」船瀬道亮 pp.56-59、「こころの扉を開く本との出会い」小出史 pp.60-63、「『ごめんねメリー』の語り部活動:かわいそうなぞうと生きのびたぞうのこと」岩下俊子 pp.64-67、「絵本『どうぶつたちもこわかった』ができるまで」コーダヨーコ pp.68-71、「新しい昔ばなしの作り方」山本太郎 pp.72-76、「熊本子どもの本の研究会 四〇年のあゆみとこれから」横田真 pp.77-81)
『暮らしの手帖(第5世紀)』 暮らしの手帖社	29号(4-5月号) (2024.3)	連載<あの人の本棚より>(20)「長野ヒデ子」pp.70-71、「岩田美津子さんとてんやく絵本」pp.86-93
『下水道協会誌』 日本下水道協会	741号(2024.7)	特集<明日につながる下水道広報>(「未来の水を考えるきっかけに絵本発行!」山本郁生 pp.23-25)
『月刊住職』 興山舎	26巻1号 (2024.1)	「聴覚障害児も葬儀が分かる初めての住職絵本:東京都真言宗智山派仙蔵寺『おそうしきのえほん』推薦」pp.6-9
『コミュニテイ』 第一生命財団	172号(2024.5)	特集<日本で暮らす外国人と地域社会>(「料理や絵本を通し無国籍を伝える」陳天璽 pp.64-67)
『財界にいがた』 財界にいがた	420号(2024.4)	<新潟女子カインタビュー>(75)「絵本は心のごはん。大切な食を伝えたい おむすび舎社主 霜鳥英梨さん」pp.20-23
『週刊金曜日』 金曜日	1502号 (2024.12.20)	特集<追悼 谷川俊太郎>(「小室等さんの語る 詩人・谷川俊太郎:「死んだ男の残したものは」から59年「笑っちゃうしかない」心境だったんじゃないかな」pp.14-17、「ねじめ正一さんの語る 詩人・谷川俊太郎:ふらっと来た「風のような人」」pp.18-19)
『週刊文春』 文芸春秋	3281号 (2024.9.19)	<新 家の履歴書>(896)「鈴木のリたけ(絵本作家):二年足らずでJRを退職。引っ越しの荷物を開けないまま社員寮を去りました。」pp.54-57
	3295号 (2024.12.26)	「阿川佐和子のこの人に会いたい 2024特別編 もう一度聞きたいあの人声:谷川俊太郎、曙太郎、中川李枝子、中尾彬、中村メイコ、中山美穂、小倉智昭」pp.108-114

『常照：佛教学部附属図書館報』 佛教学部附属図書館	71号(2024.10)	「0歳から、みて、きいて、ふれて、楽しむ絵本の世界：図書館所蔵の布絵本とマザリーズで繋ぐ親子の絆」 柏まり pp.10-13
『人権21：調査と研究』 おかもやま人権研究センター	280～283号 (2024.1～10)	連載<大人にこそ絵本> 280号：(41)『水はみどろの宮』/281号：(42)『おやすみ、ロジャー魔法のぐつすり絵本』/282号：(43)『ひでちゃんのにつき』/283号：(44)『死んだかいぞく』 松本峯子 各回2～3p
『人権のひろば』 人権擁護協会	158号(2024.7)	<委員活動>「絵本と連携した人権啓発活動：東京法務局と東京都人権擁護委員連合会の新たな取組」 p.26
『東京消防』 東京消防協会	103巻11号 (2024.11)	<すべしやる企画>「どうぶつ火災調査：絵本で火災調査を学ぼう」 pp.10-11
『東京税務レポート』 東京税務協会	541号(2024.7)	<雑感>「絵本が紡ぐもの」 町田江津子 p.105
『都市問題』 後藤・安田記念東京都市研究所	115巻11号 (2024.11)	特集<「景観まちづくり」の過去・現在・未来：第56回『都市問題』公開講座>（講演1 八王子らしい良好な景観づくり：景観計画から景観絵本まで） 赤羽祐哉 pp.4-20
『日本古書通信』 日本古書通信社	1134～1145号 (2024.1～12)	連載<奈良絵本・絵巻の研究と収集> 1134号：(52)「蓬莱山」/1135号：(53)「義経地獄破り」/1136号：(54)「判官都話」/1137号：(55)「御曹司島渡」/1138号：(56)「堀川夜討」/1139号：(57)「義経記」/1140号：(58)「浄瑠璃物語」/1141号：(59)「伏見常盤」/1142号：(60)「山中常盤」/1143号：(61)「蓬莱山 蜃気絵」/1144号：(62)「御曹司島渡 裸島絵」/1145号：(63)「大織冠 竜宮絵」 石川透 各回2p
	1134～1145号 (2024.1～12)	連載<近世戯画とその周辺> 1134号：(23)『『狂齋畫譜』1：狂齋の戯画(2)』/1136号：(24)『『狂齋畫譜』1：狂齋の戯画(その3)』/1137号：(25)『『狂齋畫譜』1：狂齋の戯画(その4)』/1139号：(26)『『滑稽狂画双六』2：1 狂齋の戯画(その5)』/1142号：(27)『『滑稽狂画双六』2：2 狂齋の戯画(その6)』/1145号：(28)『狂齋「放屁合戦絵巻」の異卷子絵巻 3：1 狂齋の戯画(その7)』 宮尾與男 各回2～3p
『日本出版学会会報』 日本出版学会	156号(2024.5)	「紙書籍としての絵本：制作から受容までの一連の流れのなかで」 山内椋子 pp.12-13、「新入会員メッセージ」 生駒幸子・小平沙紀 p.21
『文芸春秋』 文芸春秋	102巻1号 (2024.1)	「絵本作家と俳優の「逃げ道さがし」対談 正々堂々、弱音を吐こう」 ヨシタケシンスケ・上白石萌音 pp.332-347
『包装技術』 日本包装技術協会	731号(2024.3)	特集<伝わる、伝えるパッケージデザイン> pp.1-43（「料理とスパイスの楽しさを子どもに”伝える”「スパイス付き絵本」：わくわくスパイストリオのだいぼうけんシリーズ 取組みについて」 楠本明日香 pp.30-33）
『みんなのねがい』 全国障害者問題研究会出版部	701号(2024.4)	特集<ぼちぼちでダイジョブ>（「特別インタビュー 絵本『いいからいいから』にこめたもの」 長谷川義史 pp.12-13）
	703号(2024.6)	特集<うそ。ウソ！ ばれちゃった??>（「ウソは絵本・児童文学でどう描かれているか」 品川文雄 pp.18-19）
	705号(2024.8)	特集<平和をあきらめない>（「座談会 平和ってどんなこと？：絵本『へいわって どんなこと？』作者・浜田桂子さんとともに」 浜田桂子・山中信吾・古澤直子・中村美知代 pp.16-19）
	701～706号 (2024.4～10)	連載<インタビュー いまを語りあう> 701号：(1)「子どもの気持ちに寄り添いながら」/702号：(2)「へいわってどんなこと？」/703号：(3)「たかさんの「はい」を子どもたちに」/704号：(4)「あなたはかけがえのない存在」/705号：(5)「障害のある子どもたちとの出会い」/706号：(6)「手は心の深い思いを伝える」 浜田桂子 各回pp.2-3
『レジャー産業資料』 総合ユニコム	699号(2024.12)	特集<屋内型キッズパーク：少子化時代の親子マーケット獲得術>（「PLAY! PARK ERIC CARLE：絵本『はらぺこあおむし』のエリック・カールの世界観がテーマ 子どもも大人も楽しめるワークショップが大きな魅力」 pp.52-55、「FUN VILLAGE in URAWAMISONO：子どもと親和性の高いキャラクター・IPを活用 ゲームセンターとのシナジーでSCの集客に貢献」 pp.62-64）

補遺(絵本関連の特集・連載・記事を記載)

誌名・発行(出版社)	巻号(年月号or発行年月)	記事名・著者・掲載頁(or 頁数)
『pen』 CCCメディアハウス	542号(2023.7)	<p>特集<みんなの谷川俊太郎> (「ことばを体験する展覧会、谷川俊太郎の絵本の世界」林綾野 pp.28-33、「宇宙(コスモス)の手触りを求めて、ことばを紡ぎ続ける」谷川俊太郎・林綾野(文) pp.34-39、「谷川邸で見つけた、輝きを放つ愛しきものたち」林綾野 pp.40-43、「世界を広げ、みんなとつながることばの力」久保寺潤子 pp.44-59(「音とことば:音楽との共同作業で、詩のことばを楽しく届ける:谷川賢作」 pp.44-45、「心とことば:谷川の名訳がつなぐ、スヌーピーと禅語の世界:栞野俊明」 pp.46-49、「子どもとことば:詩人の中の「ぼく」は、本物の子どもより子どもらしい:増田喜昭」 pp.50-51、「子どもとことば:生と死を考え続けた詩人が伝える、内なる子どもの声:筒井大介」pp.52-53、「裸とことば:原始的で大らかな“ハダカ”には、性と生が交錯する:下田昌克」pp.54-55、「死とことば:死のそばにいる医師に、響き合う詩のことば:徳永進」 pp.56-59)、「あらゆる世代を魅了する、谷川作品の魅力とは?」佐野慎悟・渡邊卓郎・久保寺潤子・林綾野 pp.60-83(「ことばから自由に広がる世界に身を委ねて:白鳥玉季」 pp.60-61、「寛大さをもたらす詩の力で、心の弁当箱を詰め替える:上白石萌歌」 pp.62-63、「時を経ていま心に届く、ストレートなことば:アオイヤマダ」 pp.64-65、「わからないもののために、ことばを使っていいと教えてくれた:マヒトウ・ザ・ピーポー」 pp.66-67、「ちゃんと生きていて、肉体的で血が通っている詩:坂本美雨」 pp.68-69、「詩のもつ力について、新たな気づきを与えてくれた:藤巻亮太」 p.70、「クリエイションを生み出す、チームワークの理想のかたち:皆川明」 p.71、「いまなお続く、亡き母親がつないだ関係:広瀬弦」 p.72、「谷川さんの詩を読むと、突然飛ばされる瞬間がある:阿川佐和子」 p.73、「いつかは自分も谷川さんの詩にしてほしい:しりあがり寿」 pp.74-75、「私小説的な恋愛が壮大な宇宙へと広がる、谷川作品の真骨頂:刈谷政則」 pp.76-77、「人間は最期はひとりで死ぬ、そこに裸の生がある:池田澄子」 pp.78-79、「60年間履き慣れた、よれよれのスリッパ:ウィリアム・J・エリオット」 pp.80-81、「“ワクワク”っていうのは、ぼくらの無意識の芸術性なんだ:柚木沙弥郎」 pp.82-83)、「書くこととことばについて、いま僕たちが思うこと」尾崎世界観・木下龍也・武田砂鉄 pp.84-87、「最大級に透明な詩人」最果タヒ pp.88-89、「谷川俊太郎さんとの思い出を綴る」沢野ひとし pp.90-93、「若き日のスナップが伝える、詩人の出発点」森岡督行 pp.94-99、綴じ込み付録「谷川俊太郎作品選集 一九五二-二〇二三」脇本暁子・伊藤ゆずは・今泉愛子 pp.119-134)</p>

紀要論文他

●作品論・作家論・歴史・表現研究

著者名	論文名	誌名	巻(号)	発行名	発行年月	掲載頁
上原明子	「赤ちゃん絵本」考察	沖縄キリスト教短期大学紀要	(53)	沖縄キリスト教短期大学	2024.1	27-41
進藤令子	日本初の保育絵本「キンダーブック」の研究:戦後10年の歩み	静岡福祉大学紀要	(20)	静岡福祉大学	2024.2	33-39
栢村裕子	豆本『猿かにはなし』影印と翻刻	児童学研究:聖徳大学児童学研究所紀要	(26)	聖徳大学	2024.2	29-37
浜田泰彦	《翻刻・紹介》『絵本渡海物語』:『和荘兵衛』梗概本あるいは抄録本	京都語文	31	佛教大学国語国文学会	2024.2	313-338
濱岡利奈	龍谷大学大宮図書館蔵 奈良絵本『はちかつき』の翻刻	國文學論叢	69	龍谷大學國文學會	2024.2	51-68
井口あずさ	絵本『きつねのかみさま』(あまんきみこ・作、酒井駒子・絵)の分析:多様な想像を促す文章表現と視覚表現の方法	あまんきみこ研究会会報	(4)	あまんきみこ研究会	2024.3	1-13
大関健一 青柳宏	「ここに私が存在することじたい」を見つめて:私たちの「居場所」をめぐる試論	宇都宮大学共同教育学部研究紀要. 第1部	(74)	宇都宮大学共同教育学部	2024.3	191-214
山内椋子	美術雑誌で語られた「絵本」:絵本の絵への着目と「絵本の美術」の成立	絵本学:絵本学会研究紀要	(26)	絵本学会	2024.3	1-9
並木真理子	デジタル絵本の現状と今後の研究課題 (研究ノート)					19-25
井岡瑞日	礼儀作法書史におけるモンヴェル『子どものための正しい作法』(1887)の位置づけ (研究ノート)					27-36
伊藤敬佑	フランスにおける絵本研究の始まりと動向の報告 (研究ノート)					37-46
関純奈	林明子の絵本制作過程の研究:『こんとあき』ダミー本7作品のストーリーの変遷から見る (研究ノート)					47-57
丸尾美保 小泉直美 坂本淳子 関純奈 永田桂子	2023年絵本研究参考文献目録:2023年1月-12月発行分					59-95
竹迫祐子	2023年絵本原画展ならびに絵本に関連する展覧会リスト:2023年1月-12月開催分	97-108				
浅野法子	中国の「図画故事」から絵本まで:児童文化財である絵本の文化的潮流に着目して	大阪成蹊短期大学研究紀要	(21)	大阪成蹊短期大学	2024.3	1-12
下地賀代子	多良間島におけるオランダ商船の伝承とその「絵本」化:オーラル・ヒストリー調査と多良間島方言テキストの記述	沖縄国際大学日本語日本文学研究	(50)	沖縄国際大学日本語日本文学会	2024.3	1-24
鳥居和代 荒木優花	高度経済成長期の生活ファンタジー絵本の特徴と意義	金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	(16)	金沢大学人間社会研究域学校教育系	2024.3	1-20
柿本真代	戦後日本におけるディズニー絵本の受容	研究紀要	(68)	京都華頂大学	2024.3	1-11
和田幸子	Gazdag Erzsébet(文), Reich Károly(絵)による3つの絵本『Itt a tavasz』『Itt a nyár』『Itt az ősz』翻訳の試み(報告)	京都光華女子大学京都光華女子大学短期大学部研究紀要	(61)	京都光華女子大学京都光華女子大学短期大学部	2024.3	213-223
遅文俊	視覚教育としての絵本の変遷:赤羽末吉作品との比較から (研究ノート)	京都精華大学紀要	(57)	京都精華大学	2024.3	179-188
伊東凜	武井武雄における刊本 (研究ノート)					189-203

高木浩明 大角ひかる 角地夏葉 木下桜典 阪口俊弥 成尾信明 藤本将太 松尾遼	近畿大学中央図書館蔵 奈良絵本絵巻『さざれ石』・『松竹物語』復元試案(下)	文学・芸術・文化:近畿大学文芸学部論集	35(2)	近畿大学文芸学部	2024.3	84-62
小田康陽 花坂歩	絵と言葉の反自立性に着目した絵本の構造分析:『ぼくのとみだちは、あたまにはながさいている』を例に	国語探究	(4)	国語探究研究会	2024.3	133-140
竹内文緒 玉瀬友美	絵本におけるオノマトペの分析	高知大学教育学部研究報告	(84)	高知大学教育学部	2024.3	31-39
高原佳江	中川李枝子の絵本における文章の特徴の変化	甲南女子大学研究紀要I	60(1)	甲南女子大学図書委員会	2024.3	149-164
有田やえ	ピクシー絵本についての研究調査:表現における表象について(研究報告)				2024.3	197-208
有山裕美子	Higglety Pigglety Pop! Or There Must be More to Life 解説:モーリス・センダックの子ども観と死生観	滋賀文教短期大学紀要	(26)	滋賀文教短期大学	2024.3	1-16
米村佳樹	保育者経験を生かした絵本づくり:長谷川摂子と柴田愛子の場合	四国大学学際融合研究所年報	(4)	四国大学学際融合研究所	2024.3	59-68
尾崎るみ	B. H. チェンバレン『ローマ字日本語読本』研究:ちりめん本『欧文日本昔噺』シリーズ『松山鏡』および『因幡の白兎』との関連を中心に(寄稿)	白百合女子大学児童文化研究センター研究論文集	(27)	白百合女子大学児童文化研究センター		27-60
生駒幸子	戦後占領期の入札制度により翻訳出版された絵本:どのように「絵の翻訳」をしたのか(寄稿)				2024.3	61-81
マリア・エレナ・ティシ 楢村裕子	イタリア語版ちりめん本について(研究ノート)					153-168
井岡瑞日	月刊保育絵本『ひかりのくに』における編集長・豊田次雄の果たした役割(研究報告)	世界子ども学研究会紀要:Halcyon ハルシオン	(11)	[世界子ども学研究会]宮城教育大学 佐藤哲也研究室	2024.3	31-41
齋藤めぐみ	図書館が描かれている絵本の一考察	千葉敬愛短期大学紀要	(46)	千葉敬愛短期大学	2024.3	1-12
佐々木由美子	絵本・紙芝居における「ぶんぶくちやがま」の変遷:1945年以降の作品を中心に	東京未来大学研究紀要	(18)	東京未来大学	2024.3	85-94
馬見塚昭久	『どんぐりと山猫』(宮沢賢治)の絵本化と異界の描き方	常葉大学保育学部紀要	(11)	常葉大学保育学部	2024.3	49-61
馬見塚昭久	絵本『イルカの星』(葉祥明)に見る智慧:1990年代スピリチュアル絵本と現代	保育・幼児教育研究年報	(1)	常葉大学幼児教育支援センター	2024.3	69-81
今田由香	ショーン・タンの物語絵本における「欠如の表現」に関する考察	日本女子大学大学院紀要:家政学研究科・人間生活学研究科	30	日本女子大学	2024.3	139-148
伊恵貞	「重訳」の再考:絵本作家「長谷川義史」の翻訳作品(研究ノート)	通訳翻訳研究	(23)	日本通訳翻訳学会	2024.3	129-142
高橋洋子	編集者高橋五山の子どもの漫画史への貢献:大正期から戦中期を中心に	マンガ研究	(30)	日本マンガ学会	2024.3	108-130
小泉直美	日本における「ヘンゼルとグレーテル」の挿絵について	昔話:研究と資料	(51)	日本昔話学会	2024.3	65-80
丸尾美保	明治・大正期における昔話「3びきのくま」の受容研究	梅花児童文学	(31)	梅花女子大学・大学院児童文学会	2024.3	24-37
大森和紗	高松次郎の「後期絵画シリーズ」再考:絵本作品の分析を通して	美学芸術学	(39)	美学芸術学会	2024.3	1-26
船越美穂	絵本『レオンとイエレーナ』にみる保育施設における子どもたちの参画(Ⅱ)	福岡教育大学紀要:第四分冊,教職科編	73	福岡教育大学	2024.3	27-40

佐藤由美	Kittens with Mittens: Notes on Early Versions of "Three Little Kittens," with Special Reference to Anthropomorphism (キトンとミトン: 「3匹のこねこ」の初期文献に関して: 擬人化を中心に)	マザーグース研究	(15)	マザーグース学会	2024.3	1-20
高原佳江	品詞のn-gramを用いた中川李枝子の絵本における文章の分析と考察	臨床教育学研究	30	武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科	2024.3	1-17
宮本大人	『講談社の絵本』における(徳育漫画)の洗練過程	明治大学国際日本学研究	16(2)	明治大学国際日本学部	2024.3	1-30
本田幸	松居直が果たした役割に関する一考察: 「つなげる」ということに着目して (研究ノート)	横浜女子短期大学研究紀要	(39)	横浜女子短期大学	2024.3	29-42
齊藤毅憲	絵本にみる「仕事とはどのようなものか」(8)	横浜市立大学論叢. 人文科学系列	75(2・3)	横浜市立大学学術研究会	2024.3	147-168
エリス・ティエオス 松葉涼子(翻訳)	'After Native Drawings': early Western reproductions of ukiyo-e prints and book illustrations (現地美術の解釈と再現: 西洋における浮世絵と絵本挿絵の初期複製) (研究・依頼論文)	アート・リサーチ	24(2)	立命館大学アート・リサーチセンター	2024.3	99-136
生駒幸子	食べものが描かれる絵本: 異文化理解、暮らし、ジェンダーの視点から	龍谷大学論集	(500・501)	龍谷学会	2024.3	174-207
久保田知恵子	あべ弘士・作『よあけ』(二): ウデへ人とタイガからのメッセージとその表現	ヘカッチ: 日本児童文学学会北海道支部機関誌	(19)	日本児童文学学会北海道支部	2024.5	2-11
柴村紀代	荒井良二論					20-12
山口恵子	武市八十雄と矢野滋子: 『こどものせかい』絵本づくりのインタビューから					43-38
霜鳥かおり	キャラクターとなったパンダ: パンダ絵本研究ノート②					52-44
高橋晶子	B. H. チェンバレン "AINO FAIRY TALES (アイヌ昔噺)" におけるアイヌ口承文芸の子ども向け再話					84-71
谷暎子	北海道文学館に寄贈された紙芝居: 故・稲村真禮氏の紙芝居をめぐって					93-85
宋春暎	奈良絵本『長恨歌』の成立: ライデン国立民族学博物館蔵本を中心に	中世文学	(69)	中世文学会	2024.6	86-96
鄭秋迪	日・中・韓平和絵本シリーズの『くつがいく』を読む: 中国・南京の大学生の読書感想文から (研究ノート)	世界文学	(139)	世界文学会	2024.7	63-69
落合美貴子	神話絵本「いなばのしろうさぎ」の再話にみる子どもが楽しむ絵本	鳥取看護大学・鳥取短期大学研究紀要	(89)	鳥取看護大学・鳥取短期大学	2024.7	21-30
花坂歩 小田康陽 山崎彩香	絵と言葉と作者の願いが並行的に展開する絵本の分析: 『いつか きっと』を例に	国語探究	(5)	国語探究研究会	2024.9	20-26
花坂歩 佐野みなみ 小橋来実 近藤大晟	絵本における絵と言葉、擬人化の効果についての検討: 『ロバのシルベスターとまほうの小石』を例に					101-108
宮下美砂子	結婚式と表象: 現代日本における花嫁役割の形成と意識変化	千葉大学人文公共学研究論集	(49)	千葉大学大学院人文公共学府	2024.9	103-122
寺前君子	中国児童文学受容史における君島久子の足跡: 中国児童文学・中国民話翻訳を中心に	中国児童文学	(29)	中国児童文学研究会	2024.9	31-45
霜鳥かおり	萝卜回去了: 『しんせつなともだち』考					46-57
木内堯	イメージの誘惑: 『ボヴァリー夫人』の挿絵本について	仏語仏文学研究	58	東京大学仏語仏文学研究会	2024.9	145-160
外岡和菜 鎌田那央子 石川伸一	絵本の「食」を表現する言葉を探る: テキストマイニング法を用いて (報告)	宮城大学研究ジャーナル	4(1)	宮城大学	2024.9	89-99
浅岡修一	葛飾北斎と壺十楼成安: 狂歌絵本『繪本隅田川兩岸一覽』を中心にして	北斎館北斎研究所研究紀要	16	北斎館北斎研究所	2024.10	41-61

前田知穂	『好色一代男』の絵本版『大和絵のこんげん』における世之介の子の描写について	和漢語文研究	(22)	京都府立大学国中文学会	2024.11	46-66
小松恭代	ジャクエツの保育絵本『メリーランド』(1951-56): 創刊の背景と概要	福井県立大学論集	(61)	福井県立大学	2024.11	1-14
藤川玲満	『絵本楠公記』考	國文	(141)	お茶の水女子大学国語国文学会	2024.12	1-14
冷韜 山本美希	19世紀半ばから20世紀初頭における欧米の挿絵本に見られる花の擬人化表現	芸術学論集	(5)	芸術学研究会	2024.12	1-10

●教育・実践

著者名	論文名	誌名	巻(号)	発行名	発行年月	掲載頁
薩摩林淑子 山成美穂	幼小連携に関する表現教材としての「歌のしかけ絵本」の有効性: 図工的側面と音楽的側面による検証を中心に	鎌倉女子大学紀要	(31)	鎌倉女子大学	2024.1	39-52
吉田浩一	学生にとって心に残る絵本が及ぼす影響: テキストマイニング法を用いて	九州女子大学学術情報センター研究紀要	7	九州女子大学学術情報センター	2024.2	149-157
成木智子	絵本に見るインクルーシブ保育の視点	神戸海星女子学院大学研究紀要	(62)	神戸海星女子学院大学研究委員会	2024.2	37-42
竹田和恵	ICTを活用した保育構想の検討: Scratchを用いたデジタル絵本の作成と試行	神戸女子大学・神戸女子短期大学教職課程研究	(3)	神戸女子大学・神戸女子短期大学教職支援センター	2024.2	56-60
安東英里佳 吉川はる奈 柴田紗希	絵本読み場面での保育者と幼児との関わりの特徴	埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要	(22)	埼玉大学教育学部	2024.2	57-62
佐藤ゆかり 石引公美	「くわたしのふく」絵本づくりを教材とした家庭科授業・研修から何を学ぶか: 教員養成系大学学生と小学校・中学校教師の場合	上越教育大学教職大学院研究紀要	11	上越教育大学	2024.2	331-340
芹澤美奈子	絵本に音をつける表現活動の実践: 『三びきのやぎのからがらどん』を用いて	鶴見大学紀要. 第3部, 保育・歯科衛生編	(61)	鶴見大学	2024.2	25-40
徳永加代	小学校教員養成における「国語科教育法」のあり方: 「文字なし絵本」を用いて (実践報告)	帝塚山大学教育学部紀要	(5)	帝塚山大学教育学部	2024.2	11-19
千葉武夫 清水益治	平成時代の保育所保育指針における「絵本」の記述の変遷 (研究ノート)					38-48
寺井敦子	初等教育における英語の絵本の活用について: 文献レビューと小学校での活用方法の検討 (小学校特集)	田園調布学園大学教職課程年報	(7)	田園調布学園大学教職課程委員会	2024.2	241-254
杉山喜美恵 萩野道世	保育における絵本環境の構成と保育者の資質向上: 子ども主体の発表会をめざして (研究ノート)	東海学院大学短期大学部紀要	(50)	東海学院大学短期大学部	2024.2	51-63
原口のみ 今西恵子 播摩祐貴	幼児期にSTEAMのSを育むコミュニケーション: ワークショップと絵本コーナーを取り入れた学芸の森保育園の事例を通して	東京学芸大学紀要. 教職大学院	75	東京学芸大学	2024.2	105-115
阿部眞弓 渡辺涼子	絵本を用いた保育実践における想像世界の協同的な探求と保育者の役割	常葉大学健康プロデュース学部雑誌	18(1)	常葉大学浜松キャンパス	2024.2	13-23
村田康常 黒岩茉由	絵本における「行きて帰り物語」と保育の場での子どもの絵本体験	名古屋柳城女子大学研究紀要	(4)	名古屋柳城女子大学	2024.2	77-102
一條祐哉	絵本に見る日英語の移動経路・様態表現と様態を表すオノマトペ・音象徴	研究紀要	(107)	日本大学文理学部人文科学研究所	2024.2	27-44
劉郷英 丸山圭子 宮野宏子 小野方資	CLD児の「母語」習得過程に現れる困難・障壁とその克服に関する研究: 事例検討②続編	福山市立大学教育学部研究紀要	12	福山市立大学教育学部	2024.2	105-114

田中真由美	英語絵本を用いて高めることばへの気づき:批判的言語意識を高める指導につなげるために (実践報告)	学校教育センター紀要	(9)	武庫川女子大学 学校教育センター	2024.2	94-107
村上拓也	官学連携事業「岡崎市図書館交流プラザりぶら」の内装デザイン実践報告(2023年度):360度仕掛け絵本「くるみ割り人形」ぐるぐる見て周る、入って遊ぶ、撮って楽しむ絵本)	愛知学泉大学紀要	6(2)	愛知学泉大学紀 要編集委員会	2024.3	115-121
高橋多恵子 前中香	保育者を目指す学生の絵本に対する意識:絵本のPOP製作と学生アンケートを通じて (研究ノート)	青森明の星短期大学研究紀要	(49)	青森明の星短期 大学	2024.3	23-31
前田美樹 畑山朗詠 前田一明	絵本を基盤とした教育の意義 (研究ノート)	青森中央短期大学研究紀要	(37)	青森中央短期大 学	2024.3	1-9
伊藤敬佑	フランスの小学校教育における絵本・児童文学の使用の歴史的経緯と実践例	青山学院大学教育人間科学部紀要	(15)	青山学院大学教 育人間科学部	2024.3	138-148
高橋有香里	子育て支援における絵本活用に関する分析と考察 (研究ノート)	石巻専修大学研究紀要	(35)	石巻専修大学	2024.3	99-107
阪本公美子 内田啓子 菊地由起子	グローバル・サウスとの共創「日本の国際協力」「タンザニア絵本プロジェクト」「在来知・食・健康」(活動報告)	宇都宮大学国際学部 附属多文化公共圏セン ター年報	(16)	宇都宮大学国際 学部附属多文化 公共圏センター	2024.3	135-139
立川真理恵	詩と絵の出会いがもたらす新たな効果に関する一考察:詩絵本を用いた韓国語・韓国文学教育のために (研究ノート)	絵本学:絵本学会研究紀要	(26)	絵本学会	2024.3	11-17
今枝史雄 都築桃 金森裕治	ブラジル人児童に対する日本語指導の効果に関する研究:指導前後のアセスメントの変化を通して	大阪教育大学障害児 教育研究紀要	(46)	大阪教育大学教 育学部総合教育 系特別支援教育 部門	2024.3	91-105
井口あずさ	イベントの企画構想を取り入れた絵本の批評文作成指導:大学の専門課程への導入として	国語教育学研究誌	(34)	大阪教育大学国 語教育研究室	2024.3	34-43
小林翔	英語で行う絵本の読み聞かせ活動に関する一考察:海外の幼稚園実習と幼児教育専攻の学生を対象とした実践を通して	エデュケア	44	大阪教育大学 幼 児教育学研究室	2024.3	1-9
長島佳奈	保育者養成における絵本と音楽を融合した授業実践:電子鍵盤楽器と打楽器による音楽創りに着目して	創発:大阪健康福祉短 期大学紀要	(23)	大阪健康福祉短 期大学	2024.3	77-90
山口(西岡)由 稀 浅野泰昌 瀬戸山悠 馬場訓子	幼児の発達障害への理解を援助する絵本教材 (研究ノート)	岡山大学教師教育開 発センター紀要	(14)	岡山大学教師教 育開発センター	2024.3	341-355
浅野泰昌 山口(西岡)由 稀 瀬戸山悠 馬場訓子	幼児のダウン症・知的障害への理解を援助する絵本教材 (研究ノート)					357-371
田中真紀子 河合裕美	英語絵本の読み聞かせにおいて子どもは何を思い感じ学んでいるか:子どもの認知・心理・言語理解を探る	言語教育研究	(34)	神田外語大学	2024.3	17-49
今村光章	Rediscovering the Significance of Environmental Education: A New Type of Environmental Education Found in Picture Books (環境教育の意義の再発見:絵本のなかにある新しいタイプの環境教育)	岐阜大学教育学部研 究報告.人文科学	72(2)	岐阜大学教育学 部	2024.3	105-114
梅野智美	学生の絵本の捉え方:『絵本論』の授業から見えてきたこと	九州大谷研究紀要	(50)	九州大谷学会	2024.3	94-74
喜多志穂美	保育実習における絵本の読み聞かせに関する一考察(2)保育者養成校の学生の意識					51-60
山田紀子	乳幼児期になぜ絵本が大切なのか:絵本の読み聞かせの研究発表を通して (研究ノート)	金城大学短期大学部 紀要	(48)	金城大学短期大 学部	2024.3	109-117
石野友子	はくさんにしんかんせんがやってきた:北陸新幹線陸送の記録絵本制作 (研究ノート)					143-150
八幡眞由美 林浩子	教養科目における絵本の活用とその効果に関する研究:教養科目における実践を中心に	研究紀要	58	国立音楽大学	2024.3	119-129

鵜生川恵美子 中西陽子	スピリチュアルケアにおける絵本選定の一提案:読書療法の3段階のプロセスに着目して(その他)	群馬県立県民健康科学大学紀要	19	群馬県立県民健康科学大学	2024.3	45-61
玉瀬友美 竹内文緒	字の少ない絵本の読み聞かせにおける保育者と幼児のやりとり	高知大学教育学部研究報告	(84)	高知大学教育学部	2024.3	53-58
佐々木郁子	保育者養成における「絵本の読み聞かせ」の自己教育モデルの構成:PDCAサイクルと自己調整学習の社会的認知モデルの視座から	紀要	60	郡山女子大学	2024.3	47-56
青木聡子	幼児が高齢者に親しみを持つための絵本の活用	初等教育論集	(25)	国士舘大学初等教育学会	2024.3	68-75
塩見幸也 津野佑規	自然論および社会論をテーマにした絵本創作(実践報告)	子どもと自然学会誌	19(1)	子どもと自然学会	2024.3	107-111
田中幹子	絵本はSDGsの土壌(2):ストーリーを超える絵の力(研究ノート)	札幌大学研究紀要	(6)	札幌大学	2024.3	327-341
磯野千恵	幼小接続期における絵本の読みの反応の枠組みⅠ:Lawrence R.Sipe(2008)『STORYTIME』における「分析的反応」と「関連付け反応」による検討	山陽論叢	30	山陽学園大学	2024.3	161-174
吉田大輔	類似を発見する力を鍛える:『インソップ寓話集』四百七十一話の多読から絵本を作る授業(報告)	滋賀文教短期大学紀要	(26)	滋賀文教短期大学	2024.3	39-54
川野実由紀 石川慶和	特別支援学校における言葉の資質・能力の育成:絵本を用いた読書活動の実践報告(教育実践報告)	静岡大学教育実践総合センター紀要	(34)	静岡大学教育学部附属教育実践総合センター	2024.3	380-388
唐澤朋久 岡部哲典 原颯汰	拡張現実と赤外線アレイセンサを組合せたインタラクティブ絵本の開発(実践教育報告)	実践教育ジャーナル	39(1)	実践教育訓練学会	2024.3	22-25
中村智子	釜山日本村における実践研究:幼児クラスの具体的活動を通して(報告)	純真紀要	(64)	純真短期大学	2024.3	001-014
村山明彦 山口智晴	小学校低学年からの認知症教育を目的とした絵本の作成と配布	群馬医療福祉大学紀要	(12)	昌賢学園群馬医療福祉大学	2024.3	45-50
若洲日緒鈴 松澤正子	養育者による幼児への読み聞かせ行動と意義の意識との関連	昭和女子大学生生活心理研究所紀要	26	昭和女子大学生生活心理研究所	2024.3	33-47
石黒芙美代	造形表現科目で絵本を扱うことの可能性:「イメージ生成」と「造形要素・構成方法」に着目して	美術教育学研究:大学美術教育学会誌	(56)	大学美術教育学会	2024.3	17-24
岩附啓子	絵本の可能性を探る:絵本の世界を遊ぶ保育とは	高田短期大学育児文化研究	(19)	高田短期大学育児文化研究センター	2024.3	13-22
原麻美子 谷内ますみ	幼児期(3歳児・4歳児・5歳児)の活動を通じた思考に関する一考察:絵本を使った調査を中心に	千葉経済大学短期大学部研究紀要	(20)	千葉経大学短期大学部	2024.3	21-32
林冬実 中道圭人	絵本の文脈と読み聞かせ時の言葉かけが幼児の分配行動に及ぼす影響	千葉大学教育学部研究紀要	72	千葉大学教育学部	2024.3	199-206
明尾香澄	絵本に表象されるジェンダー規範:主要人物のジェンダーと物語の舞台設定に着目して	教育学研究紀要	69	中国四国教育学会	2024.3	342-347
杉村智子	認定絵本土養成講座授業「子どもと絵本」の効果検証:教員養成系学部学生が身につけたスキルを中心に(実践報告)	帝塚山大学子育て支援センター紀要	(5)	帝塚山大学子育て支援センター	2024.3	11-20
塩田翔一	絵本の物語、言葉と、語りがそれぞれ持つ役割:ファンタジーを育む新たな療育用の絵本を作るための考察(研究ノート)	東海学院大学研究年報	(9)	東海学院大学	2024.3	35-38
横井一之	専門演習における動物絵本の読み方についての一考察(教育実践研究)	東海学園大学教育研究紀要:スポーツ健康科学部	(9)	東海学園大学スポーツ健康科学部	2024.3	94-103
鳥居希安	高杉自子における幼児教育の「言葉」(3):日本の幼児教育における絵本の位置づけと高杉の考え方に着目して	東京家政大学教職センター年報	(17)	東京家政大学教職センター	2024.3	46-53
堀内亮輔 篠原俊明 長野康平	絵本に含まれる基本的な動きの種類と運動遊び(報告)	紀要	(59)	東京女子体育大学東京女子体育短期大学	2024.3	73-82

大隅敏明	ICTを活用した絵本の読み聞かせ:「保育のICT活用」における授業実践	研究紀要	(24)	常磐会学園大学	2024.3	27-34
國光みどり	子どもの非認知能力の育みを支えるキリスト教保育に関する一考察:キリスト教保育用絵本を手がかりにして	豊岡短期大学論集	(20)	豊岡短期大学紀要委員会	2024.3	9-17
田中優也	子どもの主体的な絵本活動を促す物的環境について:保育士の絵本環境に対する意識に焦点を当てて	中九州短期大学論叢	46(1)	中九州短期大学	2024.3	29-47
森本直樹	中九州短期大学生の絵本選びに関する現状と考察(研究ノート)					67-78
早川知江	「言語活動」を通して小学生が英語の語彙・文法を学ぶための絵本活用法	名古屋芸術大学研究紀要	45	名古屋芸術大学	2024.3	261-272
中嶋たや 福田真人 長友紀子	中学生と附属幼稚園生との交流で使用する絵本作成の教育実践の構想:ESD・SDGsの価値観を幼児に伝えるために(研究報告)	ESD・SDGsセンター研究紀要	(2)	奈良教育大学 ESD・SDGsセンター	2024.3	157-162
屋木瑞穂	昔話絵本の比べ読みを活用した領域「言葉」の指導と効果:伝統的言語文化の継承における幼小接続の観点から(研究報告)	奈良佐保短期大学研究紀要	(31)	奈良佐保短期大学	2024.3	1-18
大村綾	保育士養成課程における「絵本の読み聞かせ」に関する一考察:保育所保育指針の領域「言葉」に着目して	永原学園西九州大学短期大学部紀要	54	西九州大学短期大学部	2024.3	21-26
出井桂治	「非認知能力」を育てる絵本の効果的活用:国語科・道徳科の授業を通して	教育実践方法学研究	9(1)	日本教育実践方法学会	2024.3	9-24
関根佐也佳	観察研究における二人称的記述の提案:対話的な物語による現象の解釈	質的心理学研究	(23)	日本質的心理学会	2024.3	155-173
一條祐哉	英語の絵本に見る場所句倒置文	英文学論叢	72	日本大学英文学会	2024.3	43-65
植松詩織 井上恵 齊藤千恵	絵本を中心に子どもと親と園を笑顔でつなぐ:みんなの心にはなしの種をまいていく(優秀賞・自由研究部門)	保育実践研究・報告集	18	日本保育協会保育科学研究所	2024.3	14-21
三浦文恵	絵本を活用した福祉ボランティア活動報告(実践報告)	八戸学院大学短期大学部研究紀要	58	八戸学院大学短期大学部	2024.3	29-35
河村あゆみ	大学生が語る幼少期の絵本体験とその共有についての考察(報告)	医療工学雑誌	(18)	広島国際大学大学院 医療・福祉科学研究科 医療工学専攻	2024.3	9-23
渡辺雅幸	国際理解教育における絵本の活用:インド関連の絵本に焦点をあてて(研究ノート)	びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部研究紀要	(15)	びわこ学院大学	2024.3	47-54
白銀研五	絵本からみた言語教育政策に関する一考察:ベトナム語版『とりあえずましましよう』に焦点をあてて(研究ノート)					93-103
杉本栄子	幼児教育を学ぶ学生による「良好な親子関係」の研究:「親子読書おすすめベスト10」他					151-161
福永優子	保育内容「言葉」の授業に関する一考察:絵本の読み聞かせを通して	福岡こども短期大学研究紀要	(35)	福岡こども短期大学	2024.3	67-73
吉田昭子	大学生と読書:読書環境の変化4(研究ノート)	文化学園大学紀要	55	文化学園大学	2024.3	49-54
橋本卓三 首藤康子	子どもの生活を彩る絵本と実践	北翔大学短期大学部研究紀要	(62)	北翔大学短期大学部	2024.3	115-125
富田昌平 福島菜津子	怖い絵本を楽しむことの発達:1~3歳児クラスにおける絵本の読み聞かせ場面の分析を通して(教育実践)	三重大学教育学部研究紀要 自然科学・人文科学・社会科学・教育学・教育実践	75	三重大学教育学部	2024.3	179-192
伊藤摂子	小学校外国語教育における絵本単元活動方法の検討:Let's Try! 2 "This is my day"の取り組み事例より理解度の考察	武蔵野教育学論集	(16)	武蔵野大学教育学研究所	2024.3	1-13
春日菜穂美	悲嘆カウンセリングにおける箱庭および絵本制作の適用	児童教育学会研究集録	(35)	盛岡大学文学部 児童教育学科	2024.3	1-12

弘中順一	絵本から広がる幼児造形表現活動	山口芸術短期大学研究紀要	56	山口芸術短期大学	2024.3	43-57
中藤由佳美 佐々木直美	絵本セラピーではどのような主観的体験が得られるのか:参加者による自由記述の分析から	山口県立大学大学院論集	(25)	山口県立大学	2024.3	781-791
林伸一	絵本や紙芝居に見るヤングケアラーの問題:子供の人権について	山口大学文学會志	74	山口大学文学会	2024.3	85-98
多次淳一郎 春名誠美 鈴木真紀子 北井真紀子 馬場佳理 小林左耶花	大学生による絵本の読み聞かせプロジェクトの活動経過と評価(資料)	四日市看護医療大学紀要	17(1)	四日市看護医療大学	2024.3	35-42
宮城利佳子	保育者養成校に通う学生の絵本知識の測定:学年による違いに着目して	琉球大学教職センター紀要	(6)	琉球大学教職センター	2024.3	33-42
村田康常 黒岩菜由	保育の場における子どもの絵本体験の変化:一人一人の絵本体験を深める共同作業としての絵本の読みあい	柳城こども学研究	(7)	柳城幼児教育・保育研究会	2024.3	1-17
新保敦子 姚穎 李雪	中国における絵本教育の現状及び今後に向けての展望	学術研究.人文科学・社会科学編	(72)	早稲田大学教育・総合科学学術院	2024.3	15-29
佐藤彩香 田中菜採	日本語の意味的関連性を利用した小学生の英語語彙学習:教科書分析と教材開発に基づく実践研究	東北英語教育学会研究紀要	(44)	東北英語教育学会	2024.4	114-129
吉田弘子	SSS法を用いた多読多聴指導	大阪経大論集	75(1)	大阪経大学会	2024.5	1-8
鎌田明美	国語科における中学生の選書意識の変化についての検討:絵本の読みあいを通じて	解釈	70(2)	解釈学会	2024.5	32-41
船津啓治	絵本『わくせいキャベジ動物図鑑』の教材化研究と可能性:子どもの想像力を刺激し、創造力を高める	全国大学国語教育学会国語科教育研究:大会研究発表要旨集	146	全国大学国語教育学会	2024.5	227-230
井口あずさ	絵本『きつねのおきやくさま』の教材化:国語科教員養成の初期段階における「読むこと」の指導開発の試み(4)					231-234
高橋哲也 小椋郁夫 駒田格知	食と健康に関する研究:食育に関する絵本と一般的な人気絵本との外見的な数値による比較	総合科学研究	(18)	名古屋女子大学総合科学研究	2024.5	1-6
杉浦篤子	絵本の居場所:絵本活動と図書館	ヘカッチ:日本児童文学学会北海道支部機関誌	(19)	日本児童文学学会北海道支部	2024.5	28-21
横田由紀子	絵本でSDGsを考える一つの試み:絵本と社会との繋がりを意識して					37-29
浅木尚実 山路千華 鄭曉琳	子育て支援と保育実践:絵本力とアタッチメント	白鷗大学教育学部論集	18(1)	白鷗大学	2024.5	45-61
中野千野	絵本の「読み聞かせ実践」の意味と可能性:複数言語環境に生きる子どもを巡る「まなざし」の変容と再構築に着目して	早稲田日本語教育学	(36)	早稲田大学大学院日本語教育研究科	2024.6	83-101
片山ふみ	大人の絵本に対する価値観からみえる子どもの読書環境:出版界、図書館界、幼児教育・保育界の共通性から	図書館総合研究	(24)	図書館総合研究会	2024.8	1-16
佐々木郁子	保育学生による「読み聞かせの絵本」選択の傾向と特徴:絵本の読み聞かせの自己教育モデルにおける絵本選択の相	日本基礎教育学会紀要	(29)	[日本基礎教育学会]	2024.8	71-76
中道圭人	絵本の形態・物語が幼児の分配行動に及ぼす影響	保育学研究	62(1)	日本保育学会	2024.8	31-42
大谷由布子	小学校外国語における絵本・ストーリーの活用:教員養成課程の学生の英語力・指導力向上を目指して	大分大学教育学部研究紀要	46(1)	大分大学教育学部	2024.9	33-45
小柳壮摩 萩原将文	アニメーション付き絵本の読み聞かせ動画生成支援システム	芸術科学会論文誌	23(3)	芸術科学会	2024.9	10:1-10:11
早川知江	英語絵本読み聞かせ技術向上のためのメソッド提案:小学校英語教育で使える実践的技術を目指して	キャリアセンター紀要	(13)	名古屋芸術大学キャリアセンター	2024.9	165-179

谷木由利	絵本の読み聞かせ実践(美馬中方式)の検証:「お気に入りの一冊」の考察を中心に	語文と教育	(38)	鳴門教育大学国語教育学会	2024.9	111-92
黒田麻衣子	絵本モニタージュ論に着目した小学校低学年文学教材の読解に関する一考察:宮西達也『にゃーご』を題材に	語文と教育	(38)	鳴門教育大学国語教育学会	2024.9	126-112
石井光乃里	小学校における絵本の読み聞かせの実践的研究:キューライス絵本作品を中心に					146-127
岩崎直哉	学習者が「語り」を読み合う意義:『ちいちゃんのかげおくり』を絵本で再読する	全国大学国語教育学会国語科教育研究:大会研究発表要旨集	147	全国大学国語教育学会	2024.10	363-366
早川知江	小学校における英語絵本読み聞かせのための教師用教材の提案	Proceedings of JASFL	18	日本機能言語学会	2024.10	15-27
田中光 上山瑠津子 福屋いずみ	幼稚園における対面場面と遠隔場面での絵本の読み聞かせ実践の比較(資料)	日本教育工学会論文誌	48(3)	日本教育工学会	2024.10	571-584
伊澤菜結美 似内雄太 海野碧希 永吉成也 櫻井浩子	子どもの服薬理解のための絵本の開発とその有効性の検討	日本小児臨床薬理学会雑誌	37(1)	日本小児臨床薬理学会	2024.10	67-74
西前明	話すためのリテリング	函館大学論究	56(1)	函館大学	2024.10	81-98
田中正代 檀特明子	自身の生活の変容を考える食育の授業づくりの研究:パネルシアターを活用した授業	聖学院大学論叢	37(1)	聖学院大学	2024.10	51-64
武田(六角)洋子 細江幸世	官学協働による「SOSの出し方」に関する小学生向け絵本の制作(1):絵本制作ワークショップの報告	東京家政大学教職センター年報	(18)	東京家政大学教職センター	2024.11	23-31
油谷凜 北濱幹士 山田光穂 程島奈緒	読み聞かせでの絵本と背景音の調和度が幼児の集中力に与える影響:眼球運動と心拍数からの検討(ポスター講演)	聴覚研究会資料	54(6)	日本音響学会	2024.11	587-592
吉田謙介 清海杏奈 遠山卓 竹佳奈美 庄司拓馬 李英健 朴慶純 杉浦宗敏	小児患者における絵本を用いた服薬コンプライアンス向上に関するアンケート調査(Note)	薬学雑誌	144(11)	日本薬学会	2024.11	1031-1037
高濱麻衣 井澤信三	自閉スペクトラム症と知的発達症のある幼児における歌や楽器を取り入れた絵本の読み聞かせの試み:絵本の読み聞かせとの比較	兵庫教育大学学校教育学研究	37	兵庫教育大学	2024.11	163-172
鈴木健太郎 カネフラー クリス	教員養成課程における英語絵本を用いた指導に関する探究型授業の実践	北海道教育大学紀要. 教育臨床研究編	76	北海道教育大学	2024.11	121-134
佐々木美和	絵本の読み聞かせ/読み語り保育活動に対する教育内容の省察:「保育内容(言葉)」および「子どもと言葉」の学びと実習活動での実践との関係(教育研究報告)	川口短大紀要	(38)	川口短期大学	2024.12	113-121
藤原潤子	ロシア語多読のための絵本案内	神戸市外国語大学外国学研究所	(96)	神戸市外国語大学外国学研究所	2024.12	85-180
佐内信之	幼児期から児童期にかけての言葉遊び:オノマトペ絵本の分析による考察	埼玉学園大学紀要. 人間学部篇	(24)	埼玉学園大学	2024.12	173-183
今村文香 中村美智太郎	教員向けジェンダー教育研修教材の開発的研究:絵本教材を活用したジェンダーをめぐる課題への応答	静岡大学教育学部研究報告. 教科教育学篇	(56)	静岡大学大学院教育学領域	2024.12	105-121
大久保圭介 佐藤賢輔 浜名真以 野澤祥子	絵本の読み聞かせと幼児のかな文字識字および情動理解の関連:読み聞かせの量・質・開始時期に注目して	発達心理学研究	35(4)	日本発達心理学会	2024.12	227-239

浅木尚実 佐々木美和	乳幼児の探索意欲と絵本との関係：愛着形成との関わりと発語期	白鷗大学教育学部論集	18(2)	白鷗大学	2024.12	45-66
久保浦凜奈 保田昌秀	デジタル絵本を使った「読み聞かせ」に関する保育士アンケート調査	宮崎国際大学教育学部紀要 教育科学論集	(11)	宮崎国際大学教育学部	2024.12	1-7

補遺

●作品論・作家論・歴史・表現研究

著者名	論文名	誌名	巻(号)	発行名	発行年月	掲載頁
浜崎由紀 棚橋美代子	『観察絵本キンダーブック』第一輯・第二輯の附録	絵本・絵雑誌とその周辺	[1]	ガリバー出版部	2023.12	32-48
浜崎由紀 棚橋美代子	子供の爲の額繪集					49-72
武藤春陽	「中尾家本伊勢物語絵本」に見られる『伊勢物語』享受の様相	人間・環境学	32	京都大学大学院人間・環境学研究科	2023.12	245-259
佐内信之	幼児期から児童期にかけての言葉遊び：アナグラム絵本の分析による考察	埼玉学園大学紀要・人間学部篇	(23)	埼玉学園大学	2023.12	105-116
高橋諒	『うつほ物語』俊蔭巻の伝流：万治三年版本・古活字本・奈良絵本絵巻	三田國文	(68)	三田國文の会	2023.12	1-12

●教育・実践

著者名	論文名	誌名	巻(号)	発行名	発行年月	掲載頁
吉崎清乃	絵本作り：自分の成長をふりかえり、幼児の発達をより深く学ぶために（中学校実践）	家教連家庭科研究	(372)	家庭科教育研究者連盟	2023.2	26-31
山田千春	学生の絵本選択に関する現状と課題：読書記録やアンケート調査を中心に	紀要	(53)	札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部	2023.3	1-13
坂口静子 岡美佳	児童文化財としての教材作りから乳幼児の学びを考える：エプロンシアターと絵本作りを通して	研究紀要	(23)	常磐会学園大学	2023.3	65-78
弘田みな子	幼小接続期における児童文化財を活用した「言葉」の力を育てるカリキュラム：「立絵」の共同制作及びVTSを援用した「文字無し絵本」等の活用を中心に	研究紀要	(23)	常磐会学園大学	2023.3	89-102
中嶋たや	附属幼稚園との交流：絵本の作成（中学校実践）	家教連家庭科研究	(373)	家庭科教育研究者連盟	2023.4	31-36
三枝里江 鄭仁豪	先天性聴覚障害幼児の絵本読みの発達の特徴：絵本の構成要素に基づく検討	聴覚言語障害	52(2)	日本聴覚言語障害学会	2023.5	29-37
木村季美子 上田楓 明尾香澄	アーノルド・ローベル「おてがみ」の「名づけ得ない関係性」を読む：教材可能性を開くクィアの思弁的なプロセス	国語科教育	94	全国大学国語教育学会	2023.9	23-31
増原真緒	他者の自由な表現を認める意識の確立を目指した取り組み：絵本『もこもこもこ』から感じ取った世界観と身体表現	保育文化研究	(16・17)	日本保育文化学会	2023.9	91-102
永澤篤 大矢真吾 長尾智絵	数の概念に焦点を当てた絵本の比較分析：領域「環境」と小学校算数教育との接続を意識して	学校教育学会誌	(26)	北海道教育大学函館校学校教育学会	2023.9	1-9

田淵恵美子 山本剛久 長谷川達 山本弥生 玉井菜奈 吉本英樹	読み困難のある子どもの読書バリアフリーにおける、画像認識を用いた絵本の自動読み聞かせシステムの可能性	ヒューマンインタフェース学会研究報告集	25(7)	ヒューマンインタフェース学会	2023. 10	5-14
森慶子	中学校国語科における「黙読＋絵本の読み聞かせ」実践の検証Ⅱ：脳科学的アプローチの研究成果を踏まえて	全国大学国語教育学会国語科教育研究：大会研究発表要旨集	145	全国大学国語教育学会	2023. 11	99-102
長南浩人	聴覚障害幼児のイメージトリテラシーに関する研究動向（展望）	特殊教育学研究	61(3)	日本特殊教育学会	2023. 11	133-144
木谷安憲	絵本『おしえてくやさーい』をきっかけにした描画活動（実践記録）	川口短大紀要	(37)	川口短期大学	2023. 12	205-213
赤井治美	絵本の読み聞かせと手遊びについての考察（研究ノート）	修文大学短期大学部紀要	62	修文大学短期大学部	2023. 12	93-101
吉川直志	電子絵本についての学生の認識と許容度調査	児童教育論集	(7)	名古屋女子大学文学部	2023. 12	72-77
石川由美子	意味づくりを育む絵本と遊び（モーニングセミナー1）	コミュニケーション障害学	40(3)	日本コミュニケーション障害学会	2023. 12	195-199
清水真紀子	英語の発音指導実践報告：英語絵本を題材として	高崎商科大学紀要	(38)	高崎商科大学メディアセンター	2023. 12	261-272
丸田敦子	教育職の研究(その2)教育実習指導の取り組み：絵本の読み聞かせ指導の一考察	東筑紫短期大学研究紀要	(54)	東筑紫短期大学	2023. 12	161-182